

TASCAM

D01360601C

TASCAM DCP CONNECT

TASCAM EZ CONNECT

取扱説明書



第1章 TASCAM DCP CONNECT / TASCAM EZ CONNECT

目次

第1章 TASCAM DCP CONNECT / TASCAM EZ CONNECT2	
概要2	
本書の表記.....3	
商標および著作権に関して.....3	
動作環境.....3	
iOSデバイス.....3	
Androidデバイス.....3	
Windows.....3	
Mac.....3	
Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体と ソフトウェアのバージョン.....3	
専用ソフトウェアをインストールする.....4	
iOSデバイス / Androidデバイス.....4	
Windows.....4	
Mac.....5	
Gatekeeperについて.....6	
第2章 TASCAM DCP CONNECT7	
TASCAM DCP CONNECTを Danteコンパクトプロセッサシリーズと接続する.....7	
TASCAM DCP CONNECTをデモモードで使用する.....8	
画面の構成.....8	
タブエリアについて.....10	
PRESET画面.....11	
INPUT画面.....13	
INPUT詳細設定画面.....14	
COMPRESSORタブ画面.....15	
EQUALIZERタブ画面.....16	
MIXER画面.....17	
MIX詳細設定画面.....18	
DUCKING設定画面.....19	
ANC設定画面.....19	
ROUTING画面.....20	
OUTPUT画面.....21	
OUTPUT詳細設定画面.....22	
EQUALIZERタブ画面.....23	
DELAYタブ画面.....23	
SETTINGS画面.....24	
EXPORTED FILES画面.....25	
GPI SETTING画面.....26	
EZ CONNECT画面.....27	

第3章 TASCAM EZ CONNECT28	
TASCAM EZ CONNECTを Danteコンパクトプロセッサシリーズと接続する.....28	
TASCAM EZ CONNECTをデモモードで使用する.....28	
TASCAM EZ CONNECTを設定する.....29	
ソースセレクト画面を設定する.....29	
ボリューム画面を設定する.....30	
インフォメーションコードについて.....32	
第4章 TASCAM EZ CONNECTのための設定例33	
複数台のDanteコンパクトプロセッサシリーズを TASCAM EZ CONNECTで操作する.....33	

概要

TASCAM DCP CONNECT

「TASCAM DCP CONNECT」は、Danteコンパクトプロセッサシリーズのシステムインテグレーター／管理者向けコントロールソフトウェアです。

Danteコンパクトプロセッサシリーズを使ったシステム構築から、日々の管理・運用まで幅広く対応します。

- Danteコンパクトプロセッサシリーズ用システムインテグレーター／管理者向けコントロールソフトウェア
- 入力モジュール操作
- マトリクスミキサー操作
- ミックスと出力のルーティング操作
- 出力モジュール操作
- エンドユーザー向けコントロールソフトウェア「TASCAM EZ CONNECT」の環境構築
- iOS用ソフトウェアはApp Storeから、Android用ソフトウェアはGoogle Playから、Windows / Mac版はTASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) の「TASCAM DCP CONNECT」および「TASCAM EZ CONNECT」の製品ページから、無料でダウンロードが可能

TASCAM EZ CONNECT

「TASCAM EZ CONNECT」は、シンプルでわかりやすいインターフェースのエンドユーザー向けコントロールソフトウェアです。コントロール内容は、システムインテグレーター／管理者向けコントロールソフトウェアでカスタマイズ可能。

必要な機能だけをアサインすることで、エンドユーザーによる意図しない操作ミスやトラブルを防止でき、施設の管理者も安心してお使いいただけます。

本ソフトウェアをご使用いただく場合は、「ソフトウェア使用許諾契約書」をお読みいただき、同意いただいた上でご使用ください。

第1章 TASCAM DCP CONNECT / TASCAM EZ CONNECT

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- スマートフォン・タブレット端末、パソコンを「各デバイス」と表記します。
- 各デバイス上に表示される文字を「**INFO**」のように表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本ソフトウェアをこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

⚠ 注意

指示を守らないと、人がけがをする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- Android、Google Play は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- Apple、Mac、macOS、iPad および App Store は、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は、Apple Inc. のサービスマークです。
- IOSは、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Microsoft、Windows、Windows Vista および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Audinate®, the Audinate logo and Dante are trademarks of Audinate Pty Ltd.
www.audinate.com/patents
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

動作環境

iOSデバイス

対応OS

TASCAM DCP CONNECT : iPadOS 13、iOS 12、iOS 11
TASCAM EZ CONNECT : iPadOS 13、iOS 13、iOS 12、iOS 11

対応デバイス

TASCAM DCP CONNECT : arm64以降を採用したiPadシリーズ
TASCAM EZ CONNECT : arm64以降を採用したiPhone / iPad / iPod touchシリーズ

Androidデバイス

対応OS

Android 9.0 ~ 5.0

対応デバイス

TASCAM DCP CONNECT : 画面サイズ7インチ以上のAndroid
タブレット (推奨8インチ以上)
TASCAM EZ CONNECT : 画面サイズ4インチ以上のAndroid
デバイス

Windows

対応OS

Windows 10 (32bit、64bit)
Windows 8.1 (32bit、64bit)
Windows 7 SP1以降 (32bit、64bit)

メモ

Windows 8、Windows XP および Windows Vista では、お使いになることができません。

対応パソコン

Windows 対応パソコン

CPU

Intel Core iシリーズ以降推奨

メモリー

2GB以上 (4GB以上を推奨)

ディスクの空き容量

150MB以上の空きが必要

画面解像度 / 色数

1280 x 1024ドット (SXGA) 以上
True Color (32ビット) 推奨

Mac

対応OS

macOS Catalina (10.15)
macOS Mojave (10.14)
macOS High Sierra (10.13)

対応モデル

Intel Core i シリーズ / Core M シリーズを搭載した Mac

メモリー

2GB以上 (4GB以上を推奨)

ディスクの空き容量

150MB以上の空きが必要

画面解像度

1280 x 1024ドット (SXGA) 以上

Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体とソフトウェアのバージョン

対応機種

AE-4D、ML-4D/OUT-E、ML-4D/OUT-X、
MM-2D-E、MM-2D-X、MM-4D/IN-E、MM-4D/IN-X

ソフトウェアバージョン

Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体 : 1.03*
TASCAM DCP CONNECT ソフトウェアのバージョン : 1.1.1
TASCAM EZ CONNECT ソフトウェアのバージョン : 1.1.1

* Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体のファームウェアは、常に最新版をお使いいただきますようお願い致します。最新のファームウェアに関しては、TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) にてご確認ください。

第1章 TASCAM DCP CONNECT / TASCAM EZ CONNECT

専用ソフトウェアをインストールする

iOSデバイス / Androidデバイス

1. スマートフォン・タブレット端末をインターネットに接続してください。
2. Android 端末の場合はGoogle Playから、iOS端末の場合はApp Storeから、専用ソフトウェア (TASCAM DCP CONNECTまたはTASCAM EZ CONNECT) を検索し、ダウンロードおよびインストールを実施してください。
- インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

Windows

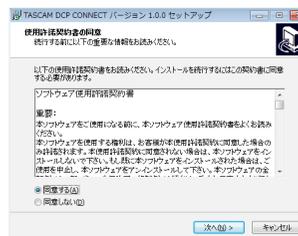
例として、「TASCAM DCP CONNECT」をインストール手順を説明します。「TASCAM EZ CONNECT」についても、インストール手順は同じ手順です。

1. お使いのパソコンをインターネットに接続してください。
2. TASCAMウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) からソフトウェア (TASCAM DCP CONNECT) のインストーラーをダウンロードしてください。
- インターネット接続における通信費用は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。

3. ダウンロード後ファイルを解凍し、「TASCAM_DCP_CONNECT_installer_x.x.x.exe (x.xx はバージョン番号)」をダブルクリックして、インストーラーを起動してください。インストーラーの言語選択画面が表示されますので、ご希望の言語を選択し、「OK」をクリックしてください。



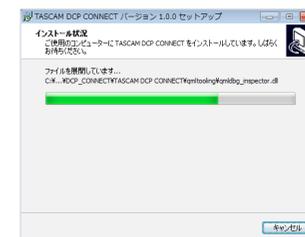
4. ソフトウェアのライセンス同意画面を表示します。ライセンス条項に同意して「同意する(A)」を選択し、「次へ(N)」ボタンをクリックして次に進みます。



5. インストールの準備完了画面を表示します。「インストール(I)」ボタンをクリックします。



6. インストールの進行状況画面を表示します。インストールを途中で中止したい場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。



7. インストール完了画面を表示します。すぐに「TASCAM DCP CONNECT」を起動する場合は、そのまま「完了(F)」ボタンをクリックしてください。後で「TASCAM DCP CONNECT」を起動する場合は、「TASCAM DCP CONNECT を実行する」のチェックマーク(✓)を外してから、「完了(F)」ボタンをクリックしてください。



以上でソフトウェアのインストール作業は完了です。

第1章 TASCAM DCP CONNECT / TASCAM EZ CONNECT

Mac

メモ

Mac 用「TASCAM DCP CONNECT」のインストール中に、「**「TASCAM_DCP_CONNECT.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものではないため開けません。**」などの警告メッセージが表示されることがあります。これらの警告メッセージが表示されたときは、6ページ「Gatekeeperについて」の対処方法を行った上で、インストールを続けてください。

1. TASCAMのウェブサイト (<https://tascam.jp/jp/>) から、ご使用のOSに適した最新の Mac 用「TASCAM DCP CONNECT」をダウンロードし、ご使用のパソコンに保存してください。
2. 保存した Mac 用「TASCAM DCP CONNECT」のディスクイメージファイル「**TASCAM_DcpConnect_x.x.x.dmg**」(x.x.x はソフトウェアのバージョン)をダブルクリックし、開いたフォルダ内の「**TASCAM_DcpConnect.pkg**」をダブルクリックします。



メモ

ご使用の環境により、ダウンロードしたzipファイルが解凍されていない場合があります。その場合は、zipファイルを解凍してからディスクイメージファイルをダブルクリックしてください。

3. インストーラーが起動しますので、「**続ける**」ボタンをクリックします。



4. 次に希望の言語を選択し、「**続ける**」ボタンをクリックします。



5. 「**使用許諾契約を読む**」ボタンをクリックして、使用許諾契約の内容を確認します。内容に同意ができたなら、「**同意する**」を選択します。次に「**続ける**」ボタンをクリックします。



6. 次に「**インストール**」ボタンをクリックすると、インストールが開始されます。



7. 次の画面が表示されたら、インストール作業は完了です。「**閉じる**」ボタンをクリックします。



以上でソフトウェアのインストール作業は完了です。

第1章 TASCAM DCP CONNECT / TASCAM EZ CONNECT

Gatekeeperについて

mac OSをお使いの場合、セキュリティー機能のGatekeeper設定により、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。

表示された警告メッセージにより、対処方法が異なります。詳しくは、以下の対処方法をご参照ください。

Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」にしている場合

「TASCAM_DcpConnect.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というセキュリティーの警告画面が表示されることがあります。



その場合には「OK」ボタンをクリックして警告画面を閉じた後、ファイル上でcontrolキーを押しながらクリックする、またはファイル上で右クリックし、メニューから「開く」をクリックしてください。

「TASCAM_DcpConnect.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものではありません。開いてもよろしいですか?」という警告画面が表示されますので、「開く」ボタンをクリックしてください。



このとき、次のGatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合と同じ警告画面が表示されることがあります。

「TASCAM_DcpConnect.pkg」は、Mac App Storeからダウンロードされたものでないため開けません。」というメッセージが再度表示され、開けないことがあります。



このときは、ファイルのあるフォルダーからデスクトップなど他のフォルダーにファイルをコピーしてから実行するか、Gatekeeperの設定を「Mac App Storeと確認済みの開発元からのアプリケーションを許可」に変更してから再度実行してください。

Gatekeeperの設定を「Mac App Storeからのアプリケーションのみを許可」以外にしている場合

「TASCAM_DcpConnect_x.x.x.dmg」(x.x.xはソフトウェアのバージョン)は、アプリケーションで、インターネットからダウンロードされました。開いてもよろしいですか?というセキュリティーの警告画面が表示されることがありますが、その場合には「開く」ボタンをクリックしてください。



Gatekeeperの設定を変えるには

Gatekeeperの設定は、システム環境設定の「セキュリティーとプライバシー」から「一般」タブの「ダウンロードしたアプリケーションの実行許可:」項目で変更できます。

変更するには左下の🔒アイコンをクリックし、パスワードを入力してロックを解除する必要があります。



🔒 ボタンもしくはcommand + Qなどでシステム環境設定を終了する、または「すべてを表示」をクリックしてこの画面から移動すると、再度ロックされます。

注意

Gatekeeperの設定を変えることで、セキュリティーにリスクが生じる場合があります。Gatekeeperの設定を変更してセキュリティーを下げた(下にある項目に変更した)ときは、本ソフトウェアのインストール終了後に設定を元に戻してください。

第2章 TASCAM DCP CONNECT

TASCAM DCP CONNECTをDanteコンパクトプロセッサシリーズと接続する

1. Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体の電源を入れ、LANケーブルでルーターに接続します。
2. 各デバイスをWi-Fiか有線接続で、先ほどのルーターに接続します。

注意

Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体と各デバイスと同じルーターに接続してください。

複数のハブやルーターを経由して接続される場合、アプリがUPnPマルチキャストによるネットワーク上の機器の検出を行えないことがあります。

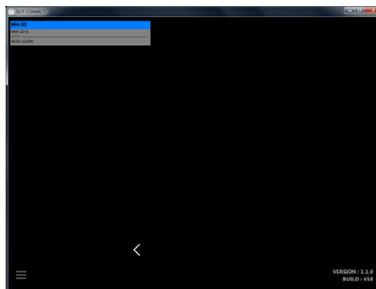
1つのハブやルーターにDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体と各デバイスを接続している場合でも、お使いの機種によっては検出が行えない場合があります。

詳しくは、ネットワーク管理者様へお問い合わせください。

メモ

- Danteオーディオのネットワークと、アプリケーションから操作するためネットワークは共通です。
- お使いのAndroidのバージョンによっては、インターネットに繋がっていないWi-Fiアクセスポイントと接続できないことがあります。その場合は、機内モードにするなどしてモバイルネットワークをオフにしてからWi-Fiをオンにしてください。詳しくは、お使いのスマートフォン・タブレット端末のメーカー様にお問い合わせください。

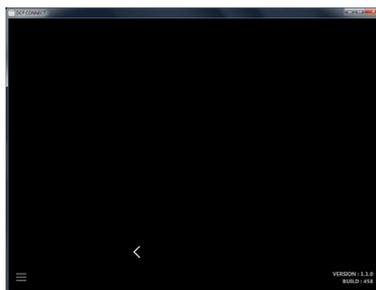
3. 「TASCAM DCP CONNECT」を起動すると、下記のログイン画面が表示されます。



複数のDanteコンパクトプロセッサシリーズがLANで接続されている場合は、接続されているDanteコンパクトプロセッサシリーズ全てがログイン画面に表示されます。

メモ

- 「TASCAM DCP CONNECT」のバージョンは、この画面の右下に表示されます。
- Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体の電源がオフのとき、またはネットワーク上にDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体が検出されていないとき、以下のログイン画面が表示されます。



4. ログインしたいDanteコンパクトプロセッサシリーズをタップします。
設定や確認を行いたいDanteコンパクトプロセッサシリーズを選択してログインしてください。
Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体と各デバイスの接続が確立されると、「TASCAM DCP CONNECT」のINPUT画面が表示されます。



メモ

Danteコンパクトプロセッサシリーズに初期パスワードは、設定されていません。パスワード空欄のままログインしてください。必要に応じ、SETTINGS画面でDanteコンパクトプロセッサシリーズにパスワードを設定してください。パスワードを設定しないと保護されません。(→ 24ページ「SETTINGS画面」)

第2章 TASCAM DCP CONNECT

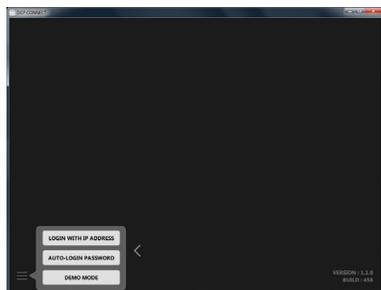
TASCAM DCP CONNECTをデモモードで使用する

デモモードは、Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体がなくても「TASCAM DCP CONNECT」を試用できるモードです。デモモードを使用することによって、「TASCAM DCP CONNECT」で設定可能な内容を確認することができます。

メモ

デモモードを使用しても、Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体の設定が変更されることはありません。

1. ☰ ボタンをタップします。
メニューがポップアップ表示されます。



2. 「DEMO MODE」 ボタンをタップすると、デバイスブラウザエリアにデモ用の仮想デバイスが追加されます。



3. デモモードで使用するデバイスをタップすると、デモモードで使用できるようになります。
デモモード中は、UNIT NAME 項目に表示される名前のあとに「Demo mode」、画面右上に「DEMO MODE」と表示されます。

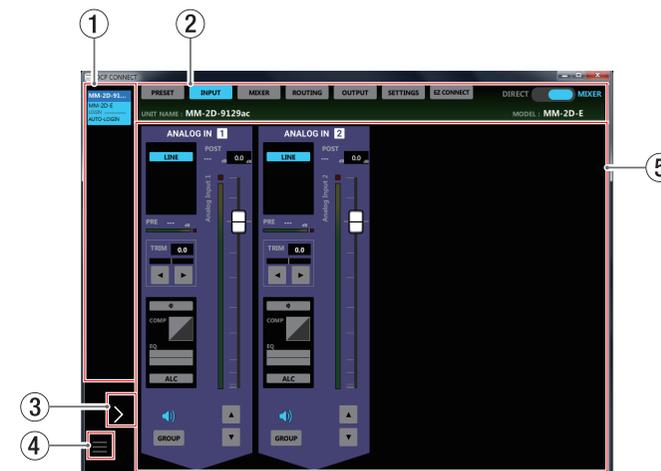


メモ

一旦追加されたデモ用の仮想デバイスは、アプリケーションを再起動するまで消えません。

画面の構成

画面は、大きく3つのエリアに分かれています。

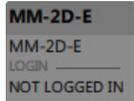
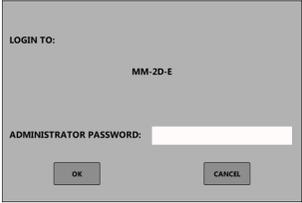
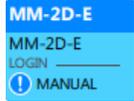


① デバイスブラウザエリア

接続したDanteネットワーク内で検出されたDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体のモデル名、機器のニックネーム、およびログイン状態が表示されます。

アイコン表示	ログイン状態	内容
	自動ログイン (非選択中)	Danteコンパクトプロセッサシリーズの装置を検出後、「TASCAM DCP CONNECT」が持っているパスワードで一度管理者としてログインをトライします。 ログインに問題なかった場合は左のような色になり、ここをクリックするとその装置を操作できるようになります。
	自動ログイン (選択中)	装置の操作エリア (⑤) に INPUT 画面、OUTPUT 画面などが表示されます。

第2章 TASCAM DCP CONNECT

アイコン表示	ログイン状態	内容
	自動ログイン失敗	<p>「TASCAM DCP CONNECT」が持っているパスワードと、Danteコンパクトプロセッサシリーズの装置の管理者パスワードが一致しませんでした。このアイコン表示をクリックすると、以下の画面をポップアップ表示します。</p>  <p>パスワードを入力しログイン成功すると、操作できるようになります。</p>
	手動ログイン	<p>前述の方法でログインした場合、「MANUAL」と表示されます。</p>

② タブエリア

装置の操作エリア (⑤) に表示する画面の切り換え、および選択しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体の内部動作の設定を行います。(→ 10ページ「タブエリアについて」)

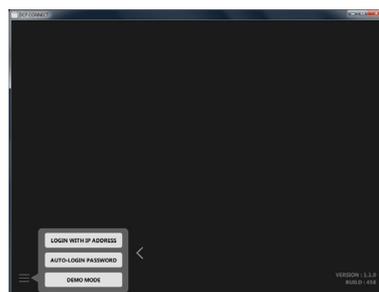
③ デバイスブラウザ

この部分をタップすると、デバイスブラウザエリアの表示が広がります。
見切れてしまっている機器のニックネームを確認することができます。



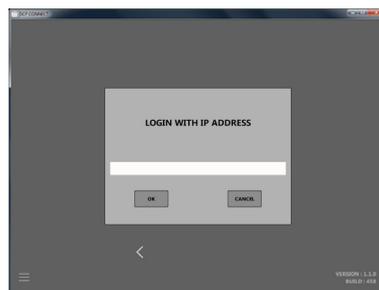
④ 三ボタン

このボタンをタップすると、以下のメニューがポップアップ表示されます。



LOGIN WITH IP ADDRESS

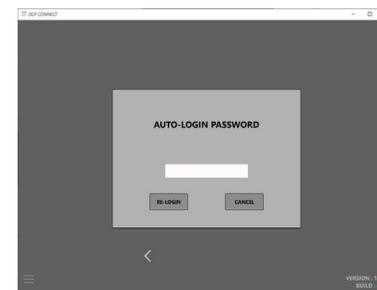
このメニューをタップすると下記の画面が表示され、IPアドレスを入力してログインすることができます。



SETTINGS画面の **NETWORK SETTING** 項目でDHCPをSTATIC (DHCP OFF) にして、なおかつ異なるネットワークセグメントに属しているなどの理由でUPnPマルチキャストによる検出が行えない場合、本機能を使用します。

AUTO-LOGIN PASSWORD

このメニューをタップすると下記の画面が表示され、新しいパスワードを登録することができます。



アルファベット大文字、小文字、数字に加え、下記の記号を入力することができます。

() [] { } ! @ # \$ % & . : ; _ ' ` ^ ~

文字数は、20文字までです。

AUTO-LOGIN PASSWORD 項目に新しいパスワードを入力後に **RE-LOGIN** ボタンをタップすると、新しいパスワードでログインしなおします。また、「TASCAM DCP CONNECT」に保存され、次の機械からはそのパスワードを使用します。

DEMO MODE

このメニュー項目をタップすると、Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体がなくても「TASCAM DCP CONNECT」を試用することができます。(→ 8ページ「TASCAM DCP CONNECTをデモモードで使用する」)

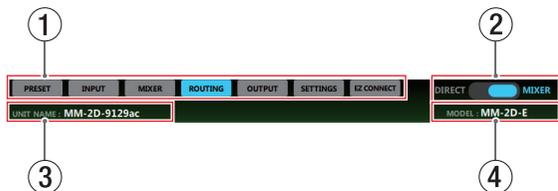
⑤ 装置の操作エリア

選択中のDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体の設定を行います。
タブエリア (②) の画面選択ボタンをタップし、操作エリアに表示される画面を切り換えます。(→ 10ページ「タブエリアについて」)

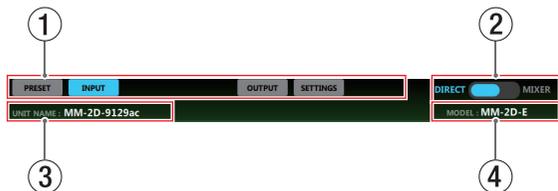
タブエリアについて

画面の上部に各画面を選択するボタンがあります。ウィンドウやタブレットの画面のサイズによって、ボタンの配置が変わります。また、モード切り換えスイッチ (③) の切り換えによって、表示されるボタンが異なります。

MIXERモード



DIRECTモード



① 画面選択ボタン

画面選択ボタンをタップして、表示する画面を切り換えます。表示している画面の選択ボタンが点灯します。

ボタン	内容
PRESET	現在のプリセットの情報を表示、およびプリセットの設定、操作をします。
INPUT	入力されてきた信号の情報を表示、および設定をします。 メモ ML-4D/OUT-EおよびML-4D/OUT-Xを操作しているとき、 INPUT ボタンは表示されません。
MIXER	各MIXチャンネルの設定をします。モード切り換えスイッチ (②) が DIRECT の時は、表示されません。

ボタン	内容
ROUTING	MIXした音声を複数の出力チャンネルに振り分ける設定をします。モード切り換えスイッチ (②) が DIRECT の時は、表示されません。
OUTPUT	アナログ出力端子に出力する信号の情報を表示、および設定をします。 メモ MM-4D/IN-EおよびMM-4D/IN-Xを操作しているとき、 OUTPUT ボタンは表示されません。
SETTING	接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズのステータス (状態) を表示、および設定をします。
EZ CONNECT	TASCAM EZ CONNECTの設定をします。モード切り換えスイッチ (②) が DIRECT の時は、表示されません。

メモ

AE-4Dを操作しているとき、**PRESET** / **MIXER** / **ROUTING** / **EZ CONNECT** ボタンは表示されません。

② モード切り換えスイッチ

Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体の内部動作を、以下のように切り換えます。

- MIXER** モード : **MIXER** 画面および **ROUTING** 画面を自由に設定し、入出力を決定することができます。
- DIRECT** モード : アナログ入出力とDante入出力を以下のように接続します。チャンネルは、Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体の機種によって、異なります。

DIRECT モード時の入出力例

入力チャンネル	出力チャンネル
ANALOG IN 1	DANTE OUT 1
ANALOG IN 2	DANTE OUT 2
ANALOG IN 3	DANTE OUT 3
ANALOG IN 4	DANTE OUT 4
DANTE IN 1	ANALOG OUT 1
DANTE IN 2	ANALOG OUT 2
DANTE IN 3	ANALOG OUT 3
DANTE IN 4	ANALOG OUT 4

メモ

AE-4Dを操作しているとき、モード切り換えスイッチ (②) は表示されません。入出力チャンネルは、常に以下になります。

入力チャンネル	出力チャンネル	
AES/EBU IN 1	DANTE OUT 1	
AES/EBU IN 2	DANTE OUT 2	
AES/EBU IN 3	DANTE OUT 3	接続している機器のサンプリング周波数が88.2/96kHzの場合は、表示されません。*
AES/EBU IN 4	DANTE OUT 4	
DANTE IN 1	AES/EBU OUT 1	
DANTE IN 2	AES/EBU OUT 2	
DANTE IN 3	AES/EBU OUT 3	接続している機器のサンプリング周波数が88.2/96kHzの場合は、表示されません。*
DANTE IN 4	AES/EBU OUT 4	

* SETTINGS画面の **SAMPLING FREQUENCY** 項目のサンプリング周波数表示にて確認することができます。

③ UNIT NAME表示

SETTINGS画面の **UNIT NAME** 項目にて設定した名前を表示します。(→ 24ページ [SETTINGS画面])

④ MODEL表示

「TASCAM DCP CONNECT」に接続中のDanteコンパクトプロセッサシリーズのモデル名を表示します。

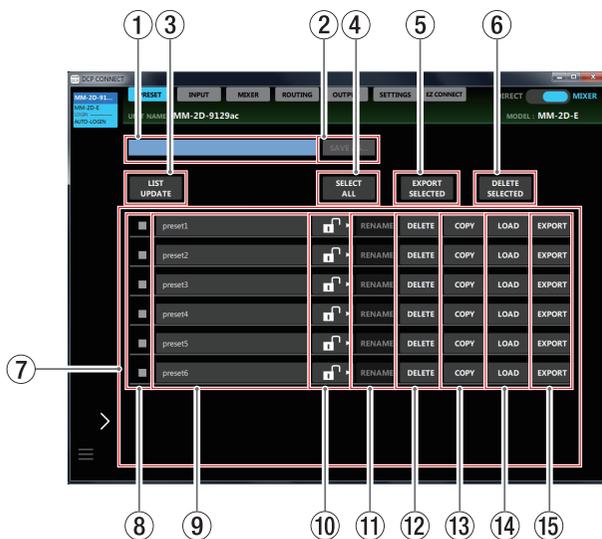
PRESET画面

PRESET画面では、現在のDanteコンパクトプロセッサシリーズの設定をプリセットにSAVE（保存）、LOAD（読み出し）することができます。

プリセットには、下記の設定が保存されます。

- INPUT画面
- MIXER画面
- ROUTING画面
- OUTPUT画面
- EZ CONNECT画面

最大50のプリセットを保存することができます。



メモ

- AE-4Dを操作しているとき、PRESET画面は表示されません。
- お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

① プリセット保存名欄

新規保存したいプリセット名を入力します。

この場所をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。

アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

② セーブボタン

プリセット保存名欄 (①) にプリセット名を入力すると、セーブボタンをタップすることが可能になります。

その状態でセーブボタンをタップすると、プリセット保存名欄 (①) に入力した名前でのプリセットを保存します。

セーブボタンを押したとき、すでに同じプリセット名が保存されている場合には、下記のメッセージがポップアップ表示されます。



OK ボタンをタップすると、同じプリセット名にプリセットの内容を上書きします。

③ LIST UPDATEボタン

プリセットリスト表示を更新します。

④ SELECT ALLボタン

プリセットリストに表示されているプリセット全てを選択します (選択マーク (⑧) にチェックマーク (✓) を入れます)。

⑤ EXPORT SELECTEDボタン (Windows版 / Mac版のみ表示)

選択マーク (⑧) にチェックマーク (✓) を入れた全てのプリセットの内容を、パソコンの「exportedfiles」フォルダーにファイルを保存します。

このボタンをタップするとパソコンにファイルが保存され、下記のメッセージがポップアップ表示されます。



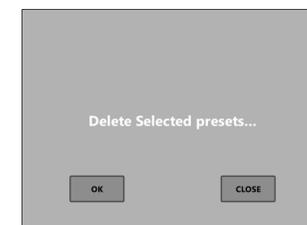
メモ

- Android版 / iOS版では、エクスポート機能をサポートしていません。
- PRESETのバックアップや、PRESETを他のDCPシリーズにコピーしたいときに使用します。

⑥ DELETE SELECTEDボタン

選択マーク (⑧) にチェックマーク (✓) を入れたプリセットを、全て削除します。

このボタンをタップすると、下記のメッセージがポップアップ表示されます。



OK ボタンをタップすると、選択したプリセットを削除します。

⑦ プリセットリスト表示部

保存したプリセットをリスト表示します。

⑧ 選択マーク表示

プリセットをファイルにエクスポートする、または消去するときにチェックマーク (✓) を入れます。

LIST UPDATE ボタンをタップすると、選択したチェックマーク (✓) が全て消えます。

第2章 TASCAM DCP CONNECT

⑨ プリセット名表示

プリセット保存名欄 (①) にて設定した名前を表示します。
この部分をタップすると、プリセット名の編集が可能になります。
LOCKスライダー (⑩) の表示が  の場合、プリセット名を変更することができます。

⑩ LOCKスライダー

 アイコンを **DELETE** ボタンまでドラッグすると  になり、プリセット名の変更、およびプリセットの削除ができなくなります。

⑪ RENAMEボタン

プリセット名を編集すると、**RENAME** ボタンをタップすることが可能になります。
その状態で **RENAME** ボタンをタップすると、変更したプリセット名を確定します。

⑫ DELETEボタン

選択したプリセットを削除します。
このボタンをタップすると、下記のメッセージがポップアップ表示されます。



OK ボタンをタップすると、選択したプリセットを削除します。

⑬ COPYボタン

選択したプリセットをコピーします。
このボタンをタップすると、下記のメッセージがポップアップ表示されます。



コピーしたプリセットには、「**Copy of**」が自動的にプリセット名に追加されます。

⑭ LOADボタン

プリセットをロードします。
ロードすると、デバイスの現在の設定がこのプリセットが保存されたときと同じ状態になります。

⑮ EXPORTボタン (Windows版 / Mac版のみ表示)

選択したプリセットの内容を、パソコンの「**exportedfiles**」フォルダーにファイルを保存します。
このボタンをタップするとパソコンにファイルが保存され、下記のメッセージがポップアップ表示されます。



メモ

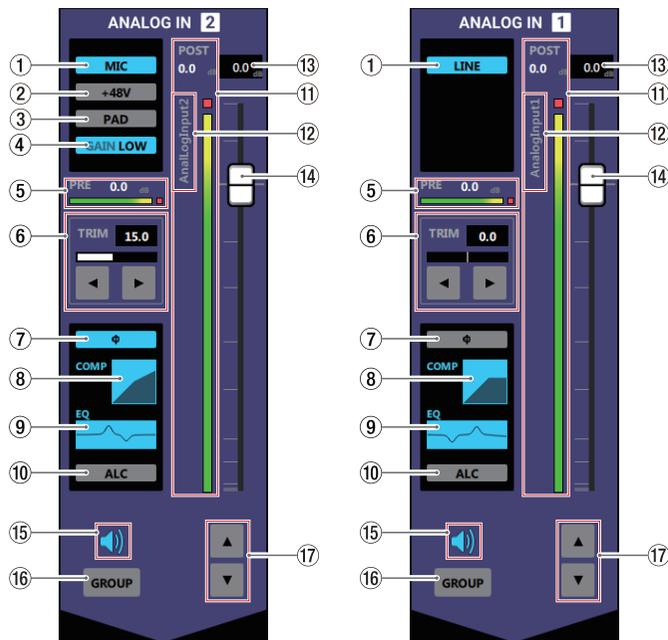
- Android版 / iOS版では、エクスポート機能をサポートしていません。
- **EXPORTED FILES** 画面の **IMPORT** ボタンをタップすると、パソコン上にファイルとして保存してあるプリセットファイルをインポートすることができます。(→ 25ページ「EXPORTED FILES 画面」)

INPUT画面

INPUT画面では、入力されてきた信号の情報表示、および設定をすることができます。



[Windows版 MM-2D-E INPUT画面]



[INPUT画面詳細]

メモ

- ML-4D/OUT-EおよびML-4D/OUT-Xを操作しているとき、INPUT画面は表示されません。
- INPUT画面詳細の①～⑩の領域をタップすると、INPUT詳細設定画面を表示します。(→ 14ページ「INPUT詳細設定画面」)
- 各レベルメーターの最上部または最右部は、オーバードインジケータです。
- お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

① マイク/ライン入力設定状態表示

INPUT詳細設定画面のMIC/LINE選択ボタンの設定状態を表示します。

② ファントム電源設定状態表示

INPUT詳細設定画面のMIC/LINE選択が「MIC」のとき、ファントム電源のオン/オフの設定状態を表示します。ファントム電源がオンのとき、「+48V」が点灯します。

③ PAD設定状態表示

INPUT詳細設定画面のMIC/LINE選択が「MIC」のとき、パッドのオン/オフの設定状態を表示します。パッドがオンのとき、「PAD」が点灯します。

④ GAIN設定状態表示

INPUT詳細設定画面のMIC/LINE選択が「MIC」のとき、入力ゲインの設定状態を表示します。入力ゲインの設定が「HIGH」のとき「GAIN HIGH」が点灯、「LOW」のとき「GAIN LOW」が点灯します。

⑤ PREレベルメーター/レベル表示

チャンネルフェーダーの前の信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

⑥ TRIMレベル表示 / TRIMスライダー設定状態

INPUT詳細設定画面のTRIMスライダーの設定状態を表示します。数字をタップしてキーボード入力、あるいは◀ / ▶ボタンをタップして調節します。

入力ソース	設定範囲
マイク入力	MM-2D-E、MM-2D-X : 0 ~ 36.5、0.5単位で設定できます。 MM-4D/IN-E、MM-4D/IN-X : 0 ~ 33.0、0.5単位で設定できます。
ライン入力	-10 ~ +10、0.5単位で設定できます。

⑦ PHASE設定状態表示

INPUT詳細設定画面の「PHASE」の設定状態を表示します。チャンネルの信号の位相(フェーズ)が逆相(リバース)のとき、青色に点灯します。

⑧ COMPRESSOR設定状態表示

INPUT詳細設定画面の「COMPRESSOR」のオン/オフ状態を表示します。また、コンプレッサーの設定状態をグラフで表示します。コンプレッサーがオンのとき、青色に点灯します。

⑨ EQUALIZER設定状態表示

INPUT詳細設定画面の「EQUALIZER」のオン/オフ状態を表示します。また、イコライザーの設定状態をグラフで表示します。イコライザーがオンのとき、青色に点灯します。

⑩ ALC設定状態表示

オートレベルコントロール機能のオン/オフ状態を表示します。オートレベルコントロール機能がオンのとき、青色に点灯します。

⑪ POSTレベル表示 / レベルメーター表示

チャンネルフェーダーの後の信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

⑫ INPUT名表示

INPUT詳細設定画面のINPUT名設定部で設定したINPUT名を表示します。

メモ

AE-4Dを操作しているとき、この部分をタップすると **Change AES/EBU INPUT NAME** 画面をポップアップ表示します。

⑬ チャンネルフェーダーレベル表示

この表示部の下にあるチャンネルフェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

設定範囲: -inf、-126.9 dB ~ +10 dB

(初期値: 0.0 dB、0.1 dB刻み)

ここをタップすると、キーボードを使ってチャンネルフェーダーの送り出しレベルの値を設定することができます。

⑭ チャンネルフェーダー

チャンネルの信号をMIXチャンネルおよびダッキング機能とANC機能へ送るレベルを調節します。チャンネルフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、チャンネルレベルを調節します。チャンネルフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示部(⑬)に表示されます。

メモ

フェーダーノブをダブルタップすると、フェーダーが0dBに設定されます。

⑮ ミュートボタン

- ボタンをタップすると、ボタンが消灯し、その消灯したチャンネルがミュート（消音）されます。（初期値：点灯）
- ボタンをタップすると、ミュートが解除されます。

⑯ GROUPボタン

- GROUP ボタンをタップすると GROUP ボタンが点灯し、グループ化したチャンネルのチャンネルフェーダーとミュートボタンが連動します。（初期値：消灯）

メモ

全てのチャンネルをグループ化することも可能です。

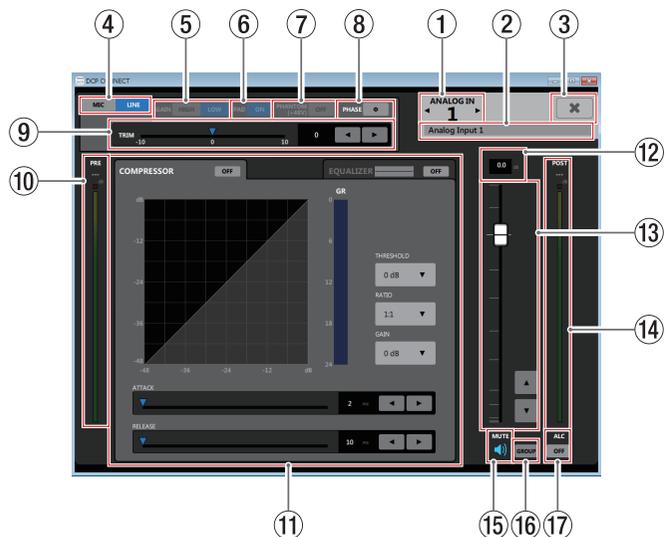
⑰ チャンネルフェーダー調節ボタン

各チャンネルの信号をMIXチャンネルおよびダッキング機能とANC機能へ送るレベルを調節します。

▲ / ▼ ボタンをタップすると、0.1dB単位で調節することができます。

チャンネルフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示部(⑬)に表示されます。

INPUT詳細設定画面



メモ

お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

① INPUTチャンネル表示

表示されているINPUT詳細設定画面のチャンネル番号を表示します。

◀ / ▶ の部分をタップすると、隣のチャンネルのINPUT詳細設定画面を表示します。

② INPUT名設定部

INPUT画面のINPUT名表示に表示される名前を設定します。この場所をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。

アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

③ ✕ ボタン

INPUT詳細設定画面を閉じて、INPUT画面に戻ります。

④ MIC/LINE選択ボタン

各チャンネルの入力のタイプを選択します。

選択した MIC / LINE のボタンが点灯します。

⑤ GAIN選択ボタン

MIC/LINE選択が「MIC」のとき、各チャンネルの入力ゲインを選択します。

選択した HIGH / LOW のボタンが点灯します。

⑥ PADボタン

MIC/LINE選択が「MIC」のとき、各チャンネルのパッドのオン/オフを切り換えます。

パッドがオンのとき、ON ボタンが点灯し、-20dBのパッドが働きます。

⑦ PHANTOM (+48V) ボタン

MIC/LINE選択が「MIC」のとき、各チャンネルのファントム電源のオン/オフを切り換えます。

ファントム電源がオンのとき、ON ボタンが点灯します。

注意

OUTPUT画面の出力チャンネルフェーダーを下げた状態でファントム電源のオン/オフ切り換えを行ってください。マイクによっては大きなノイズを発生し、モニター機器から突然大きな音が出て、機器の破損や聴力障害の原因になる可能性があります。

注意

- ファントム電源を必要としないマイクを接続している場合は、ファントム電源をオンにしないでください。
- ファントム電源をオンにした状態で、マイクの抜き挿しをしないでください。大きなノイズを発生し、本機および接続中の機器が故障する恐れがあります。
- ファントム電源を必要とするコンデンサーマイクとダイナミックマイクを合わせて使用する場合は、必ずバランスタイプのダイナ

ミックマイクをご利用ください。アンバランスタイプのダイナミックマイクにファントム電源を供給することはできません。

- リボンマイクの中には、ファントム電源を供給すると故障の原因になるものがあります。疑わしい場合は、リボンマイクにファントム電源を供給しないでください。

⑧ PHASEボタン

チャンネルの信号の位相（フェーズ）を変更します。

マイクのワイヤリングなどの原因により位相が逆相になっている場合、このボタンをタップして入力チャンネルの位相（フェーズ）を反転します。

<input type="radio"/>	正相（ノーマル）
<input checked="" type="radio"/>	逆相（リバース）

⑨ TRIMスライダー

各チャンネルの入力レベルを調節します。

◀ / ▶ ボタンをタップ、▼ をドラッグ、あるいは数字をタップしてキーボード入力して調節します。

入力ソース	設定範囲
マイク入力	MM-2D-E、MM-2D-X： 0 ~ 36.5、0.5単位で設定できます。 MM-4D/IN-E、MM-4D/IN-X： 0 ~ 33.0、0.5単位で設定できます。
ライン入力	-10 ~ +10、0.5単位で設定できます。

⑩ PREレベル表示 / レベルメーター表示

コンプレッサーの前の信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

⑪ COMPRESSORタブ画面 / EQUALIZERタブ画面表示部

各タブをタップすると、選択されたタブ画面を表示します。（→ 15ページ「COMPRESSORタブ画面」、（→ 16ページ「EQUALIZERタブ画面」）

⑫ フェーダーレベル表示

この表示部の下にあるチャンネルフェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

設定範囲：-inf、-126.9 dB ~ +10 dB
（初期値：0.0 dB、0.1 dB刻み）

ここをタップすると、キーボードを使ってチャンネルフェーダーの送り出しレベルの値を設定することができます。

⑬ チャンネルフェーダー

MIXチャンネルおよびダッキング機能とANC機能へ送るレベルを調節します。

チャンネルフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、チャンネルレベルを調節します。

▲ / ▼ ボタンをタップすると、0.1dB単位で調節することができます。

チャンネルフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示部(⑫)に表示されます。

メモ

フェーダーノブをダブルタップすると、フェーダーが0dBに設定されます。

⑭ POSTレベル表示/レベルメーター表示

チャンネルフェーダーの後の信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

⑮ ミュートボタン

🔊 ボタンをタップすると、🔊 ボタンが消灯しミュート（消音）されます。(初期値：点灯)

🔊 ボタンをタップすると、ミュートが解除されます。

⑯ GROUPボタン

GROUP ボタンをタップすると GROUP ボタンが点灯し、グループ化したチャンネルのチャンネルフェーダーとミュートボタンが連動します。(初期値：消灯)

⑰ ALCボタン

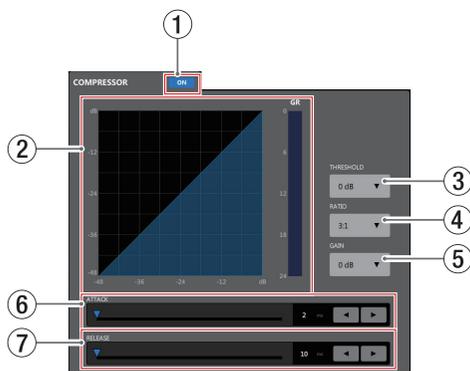
オートレベルコントロール機能のオン/オフを切り換えます。

オートレベルコントロール機能がオンのとき、ON ボタンが点灯します。

COMPRESSORタブ画面

入力音量がスレッシュホルドレベルを超えた場合に、コンプレッション（音量の変化幅を圧縮）し、音量のバラつきを抑えます。

たとえば、発音時のレベルの高い部分を潰して全体のレベルをそろえ、減衰音のレベルを持ち上げることによって伸びのある音にすることができます。



① コンプレッサーオン/オフボタン

コンプレッサーのオン/オフを切り換えます。オンのとき、ON ボタンが点灯します。

② コンプレッサー状態表示

コンプレッサーの入力信号レベルと出力信号レベル、およびゲインリダクションレベル (GR) メーターの三種類で状態を表示します。

メモ

コンプレッサーがオンのときはグラフは青色、オフのときは灰色に表示されます。

③ THRESHOLD

コンプレッサーをかけ始めるレベル（スレッシュホルドレベル）を調節します。

この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定範囲：-32dB ~ 0dB（初期値：0dB）

④ RATIO

入力音量の圧縮率を設定します。

値が大きいほど圧縮率が高くなり、圧縮幅が増加します。この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定範囲：1.0 : 1 ~ ∞ : 1（初期値：1.0 : 1）

⑤ GAIN

出力音量の増幅幅を設定します。

コンプレッサーでは音量の圧縮を行うため、入力音に比べ出力音のレベルは低くなります。

この項目で出力音を増幅させることにより、入力音に近いレベルに戻すことができます。

この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定範囲：0dB ~ 20dB（初期値：0dB）

⑥ ATTACK

入力音量がスレッシュホルドレベルを超えた場合に、「RATIO」で設定された圧縮率までに達するまでの時間を設定します。

設定範囲：2ms ~ 200ms（初期値：2ms）

スライダー、設定時間表示部のキーボード入力、または◀ / ▶ ボタンで設定が可能です。

⑦ RELEASE

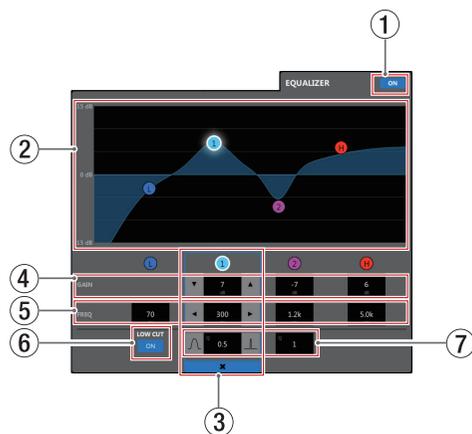
入力音量がスレッシュホルドレベルより下がった後、圧縮が解除され通常のレベルに戻るまでの時間を設定します。

設定範囲：10ms ~ 1000ms（初期値：10ms）

スライダー、設定時間表示部のキーボード入力、または◀ / ▶ ボタンで設定が可能です。

EQUALIZERタブ画面

特定の周波数帯域を増幅あるいは減衰させるエフェクターです。個々の楽器の色付けや、幅広い帯域のバランス調節や余分な帯域のピンポイント・カットなどに使用します。



LOWバンドはローシェルピング（棚型）イコライザー、① / ②バンドはピーキング（ベル型）イコライザー、HIGHバンドはハイシェルピング（棚型）イコライザーです。

① イコライザーオン／オフボタン

イコライザーのオン／オフを切り換えます。オンするとき、ON ボタンが点灯し、EQグラフ表示 (②) が青く表示されます。

② EQグラフ表示

現在のイコライザー設定の周波数特性を表示します。EQグラフは、イコライザーがオフのときも表示されます。EQグラフ表示内の L / ① / ② / H 表示をタップ後、EQグラフ表示部をドラッグすることによって、選択されたバンドのGAINとFREQを変更することができます。

③ バンド選択枠

EQグラフ表示内または GAIN 表示上部の L / ① / ② / H 表示をタップすると、タップしたバンドにバンド選択枠が表示され各項目の値が変更可能になります。バンド選択枠の ✕ をタップすると、バンド選択枠が消えます。

④ GAIN (L / ① / ② / H)

LOWバンド / ① / ② / HIGHバンドの増幅・減衰量を設定します。
設定範囲：±12dB（初期値：0dB）

▼ / ▲ ボタンで設定が可能です。

LOW CUT ボタン (⑥) が ON のとき、LOWバンドのゲインは設定できません。また、設定値表示部をタップすると設定値のリストが表示されます。

⑤ FREQ (L / ① / ② / H)

LOW / HIGHバンドのカットオフ周波数、および ① / ② バンドの中心周波数を設定します。

設定範囲

- L : 32Hz ~ 1.6kHz（初期値：80Hz）
- ① : 32Hz ~ 18.0kHz（初期値：300Hz）
- ② : 32Hz ~ 18.0kHz（初期値：1.2kHz）
- H : 1.7kHz ~ 18.0kHz（初期値：5kHz）

◀ / ▶ ボタンで設定が可能です。また、設定値表示部をタップすると設定値のリストが表示されます。

⑥ LOW CUTボタン

LOW CUT ボタンをタップすると、ON ボタンが点灯し低域の雑音などをカットするローカットフィルター機能が有効になります。（初期値：消灯）

⑦ Q (① / ②)

① / ②バンドの尖鋭度（尖り具合）を設定します。値が大きいほど尖った特性になり、狭い範囲の周波数帯域に作用します。値が小さいほどなだらかな特性になり、広い範囲の帯域に作用します。

設定範囲：0.25 ~ 16（初期値：1）

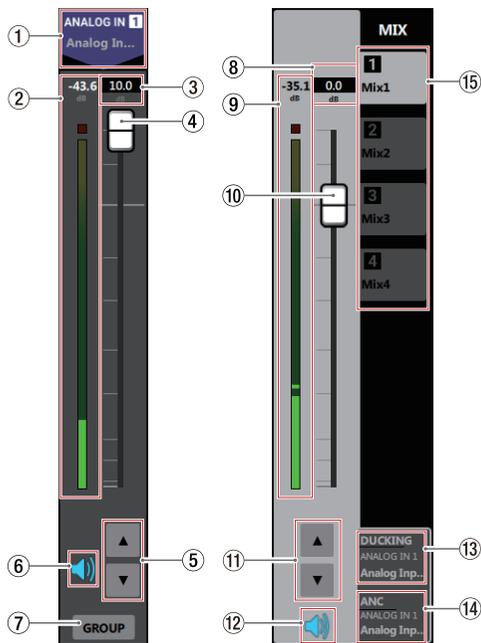
▲ / ▼ ボタンで設定が可能です。また、設定値表示部をタップすると設定値のリストが表示されます。

MIXER画面

MIXER画面では、各MIXチャンネルの設定およびMIXER詳細設定画面の設定を、MIXタブごとに設定することができます。



[Windows版 MM-2D-E MIXER画面]



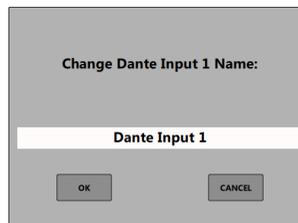
[MIXER画面 詳細]

メモ

- モード切り換えスイッチが **DIRECT** のとき、MIXER画面は表示されません。
- AE-4Dを操作しているとき、MIXER画面は表示されません。
- 各レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケータです。
- お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。
- サンプリング周波数によって、Danteコンパクトプロセッサシリーズの各機種ごとにDanteの使用可能なチャンネル数が異なります。詳細については、24ページ「SETTINGS画面」の「⑦ SAMPLING FREQUENCY」をご覧ください。

① 入力チャンネル名表示および信号名表示

INPUT画面の入力チャンネル名、およびINPUT詳細設定画面のINPUT名設定部にて設定した名前を表示します。Dante入力チャンネルの名前をタップすると、Danteチャンネル名変更画面をポップアップ表示します。



この場所をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

メモ

Dante入力チャンネルの名前を変更すると、Dante Controllerから見ることができる「Channel Label」も変更されます。Dante入力チャンネルの名前と「Channel Label」では、文字数や使える文字の制限が異なります。「Channel Label」の制限をこえたDante入力チャンネルの名前にした場合、自動的に変更されます。「Channel Label」の制限については、Dante Controllerの取扱説明書をご参照ください。

② MIXレベル表示／レベルメーター表示

MIXタブ切り換え表示部 (15) で選択したMIXバスに対して送り出す信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

③ MIXチャンネルフェーダーレベル表示

この表示部の下にあるMIXチャンネルフェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

設定範囲： $-\text{inf}$ 、 -126.9 dB ~ $+10$ dB
(初期値：0.0 dB、0.1 dB刻み)

ここをタップすると、キーボードを使ってチャンネルフェーダーの送り出しレベルの値を設定することができます。

④ MIXチャンネルフェーダー

MIXタブ切り換え表示部 (15) で選択したMIXバスへ送るレベルを調節します。

MIXチャンネルフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、チャンネルレベルを調節します。

MIXチャンネルフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示部 (3) に表示されます。

メモ

フェーダーノブをダブルタップすると、フェーダーが0dBに設定されます。

⑤ MIXチャンネルフェーダー調節ボタン

▲ / ▼ ボタンをタップすると、MIXチャンネルフェーダーを0.1dB単位で調節することができます。

⑥ ミュートボタン

🔊 ボタンをタップすると、🔊 ボタンが消灯し、そのチャンネルのMIXバスへの送りがミュート（消音）されます。(初期値：点灯)

🔊 ボタンをタップすると、ミュートが解除されます。

⑦ GROUPボタン

GROUP ボタンをタップすると GROUP ボタンが点灯し、グループ化したチャンネルのチャンネルフェーダーとミュートボタンが連動します。(初期値：消灯)

メモ

全てのチャンネルをグループ化することも可能です。

⑧ MIXマスターフェーダーレベル表示

この表示部の下にあるMIXマスターフェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

設定範囲： $-\text{inf}$ 、 -126.9 dB ~ $+10$ dB
(初期値：0.0 dB、0.1 dB刻み)

ここをタップすると、キーボードを使ってマスターフェーダーの送り出しレベルの値を設定することができます。

第2章 TASCAM DCP CONNECT

⑨ MIXマスターレベル表示／レベルメーター表示

MIXマスターフェーダーの信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

⑩ MIXマスターフェーダー

OUTPUT画面の出力チャンネルへ送るレベルを調節します。MIXマスターフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、チャンネルレベルを調節します。MIXマスターフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示部(⑥)に表示されます。

メモ

フェーダーノブをダブルタップすると、フェーダーが0dBに設定されます。

⑪ MIXマスターフェーダー調節ボタン

▲ / ▼ ボタンをタップすると、MIXのマスターフェーダーを0.1 dB単位で調節することができます。

⑫ ミュートボタン

🔊 ボタンをタップすると、MIXマスターチャンネルがミュート(消音)されます。(初期値：点灯)

🔊 ボタンをタップすると、ミュートが解除されます。

⑬ ダッキング機能設定状態表示

MIXER詳細設定画面のダッキング機能のオン／オフの設定状態、およびダッキング機能を使用する対象ソース名を表示します。ダッキング機能がオンのときに「DUCKING」および対象ソース名が点灯します。

この部分をタップすると、MIXER詳細設定画面を表示します。

⑭ ANC機能設定状態表示

MIX詳細設定画面のANC機能のオン／オフの設定状態、およびANC機能を使用する対象ソース名を表示します。ANC機能がオンのときに「ANC」および対象ソース名が点灯します。この部分をタップすると、MIXER詳細設定画面を表示します。

⑮ MIXタブ切り換え表示部

各MIXタブごとにMIXチャンネルの設定をすることができます。MIXタブには、MIX詳細設定画面のMIX名設定部に設定した名前を表示します。この部分をタップすると、MIXタブを切り換えて表示します。

MIX詳細設定画面



① MIX番号表示

表示されているMIX詳細設定画面のMIX番号を表示します。

◀ / ▶ の部分をタップすると、隣のMIX詳細設定画面を表示します。

② MIX名設定部

MIX画面およびROUTING画面のMIXタブに表示される名前を設定します。

この場所をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。

アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

③ ✕ ボタン

MIX詳細設定画面を閉じて、MIXER画面に戻ります。

④ ダッキング機能詳細設定表示部

表示されているMIXのダッキング機能を設定します。

⑤ ANC機能詳細設定表示部

表示されているMIXのANC機能を設定します。

⑥ MIXマスターフェーダーレベル表示

この表示部の下にあるMIXマスターフェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

設定範囲：-inf、-126.9 dB ~ +10 dB

(初期値：0.0 dB、0.1 dB刻み)

ここをタップすると、キーボードを使ってMIXマスターフェーダーのレベルの値を設定することができます。

⑦ MIXマスターフェーダー

OUTPUT画面の出力チャンネルへ送るレベルを調節します。MIXマスターフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、チャンネルレベルを調節します。

▲ / ▼ ボタンをタップすると、0.1 dB単位で調節することができます。

MIXマスターフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示部(⑥)に表示されます。

メモ

フェーダーノブをダブルタップすると、フェーダーが0dBに設定されます。

⑧ MIXマスターレベル表示／レベルメーター表示

MIXマスターフェーダーの信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

メモ

お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

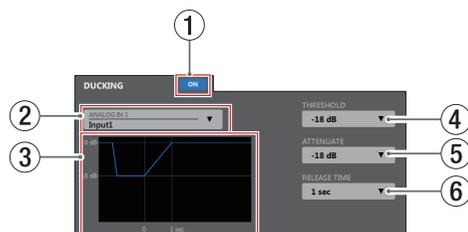
⑨ ミュートボタン

🔊 ボタンをタップすると、MIXマスターチャンネルがミュート(消音)されます。(初期値：点灯)

🔊 ボタンをタップすると、ミュートが解除されます。

DUCKING設定画面

ダッキング機能を使って、ライン入力しているチャンネルから入力しているBGMなどの音量をマイクの入力に合わせて自動的に下げることができます。



① ダッキング機能オン/オフボタン

ダッキング機能のオン/オフを切り換えます。オンのとき、ON ボタンが点灯し、③ のグラフが青く表示されます。

② ダッキング機能対象ソース選択表示

ダッキング機能のマイク入力ソースを選択します。また、選択されたソースがBGMにミックスされます。この部分をタップすると、対象ソースのリストが表示されます。

③ ダッキング機能イメージ描画

ATTENUATE 項目と RELEASE TIME 項目の設定に合わせて、ダッキングのレベル変化のイメージを表示します。

④ THRESHOLD

設定したレベルをダッキング機能対象ソース (②) が上回ると、ダッキングが動作します。

例えば小さいマイク入力音などにダッキング機能を使いたい場合は、このパラメーターの設定値を小さく (-30dBFSが最小) します。この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定値：-30dB、-24dB、-18dB、-12dB、-6dB (初期値)

⑤ ATTENUATE

設定したレベルだけBGMの音量レベルを下げます。この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定値：-3dB (初期値)、-6dB、-9dB、-12dB、-18dB、-24dB、-inf. dB

⑥ RELEASE TIME

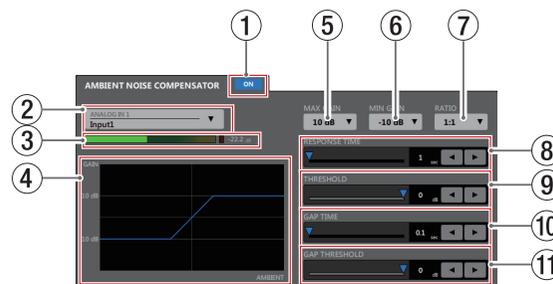
マイク入力がある THRESHOLD 項目の設定値を下回って、BGMの音量をもとに戻すまでの時間を設定します。

この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定値：0.1sec (初期値)、0.5sec、1 sec、1.5sec、2 sec、2.5sec、3 sec、3.5sec、4 sec、4.5sec、5 sec

ANC設定画面

ANC機能 (Ambient Noise Compensator) を使って周囲のノイズを測定し、主音声を取りやすい音量に自動で調節することができます。



① ANC機能オン/オフボタン

ANC機能のオン/オフを切り換えます。オンのとき、ON ボタンが点灯し、④ のグラフが青く表示されます。

② ANC機能対象ソース選択表示

ANC機能で測定する周辺ノイズのソースを選択します。この部分をタップすると、対象ソースのリストが表示されます。

③ POSTレベル表示/レベルメーター表示

INPUT画面のチャンネルフェーダーの後の信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

メモ

お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

④ ANC機能イメージ描画

ANC機能のレベル変化のイメージを表示します。

⑤ MAX GAIN

ANC機能のゲインのMAX値を設定します。この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定値：0dB ~ 20dB (初期値：10dB、1dB刻み)

⑥ MIN GAIN

ANC機能のゲインのMIN値を設定します。この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定値：-20dB ~ 0dB (初期値：-10dB、1dB刻み)

⑦ RATIO

ANC機能のゲインの圧縮率を設定します。この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

設定値：0.5:1、0.6:1、0.7:1、0.8:1、0.9:1、1:1 (初期値)、1.1:1、1.2:1、1.3:1、1.4:1、1.5:1、1.6:1、1.7:1、1.8:1、1.9:1、2:1

⑧ RESPONSE TIME

主音声のゲイン調整反応速度を設定します。

設定値：1sec ~ 60sec (初期値：1sec、1sec刻み)

スライダー、設定時間表示部または◀ / ▶ ボタンで設定が可能です。

⑨ THRESHOLD

平均的な周辺ノイズのレベル (スレッシュホールドレベル) を設定します。

設定値：-60dB ~ 0dB (初期値：0dB、1dB刻み)

スライダー、設定レベル表示部または◀ / ▶ ボタンで設定が可能です。

⑩ GAP TIME

ギャップ (無音部分) を判定するための時間を設定します。

設定値：0.1sec ~ 10sec (初期値：0.1sec、0.1sec刻み)

スライダー、設定時間表示部または◀ / ▶ ボタンで設定が可能です。

⑪ GAP THRESHOLD

主音声のしきい値レベル (スレッシュホールドレベル) を設定します。主音声のレベルがGAP TIME以上継続して設定値以下だった場合にギャップ (無音部分) と判定します。ギャップ区間において周辺ノイズのレベルを測定し、ANCのゲインを決定します。

設定値：-60dB ~ 0dB (初期値：0dB、1dB刻み)

スライダー、設定レベル表示部または◀ / ▶ ボタンで設定が可能です。

ROUTING画面

MIX、DANTE IN、ANALOG INからのオーディオ信号を、DANTE OUTやANALOG OUTに個別にルーティングすることができます。



メモ

- モード切り換えスイッチが **DIRECT** のとき、ROUTING画面は表示されません。
- AE-4Dを操作しているとき、ROUTING画面は表示されません。
- サンプル周波数によって、Danteコンパクトプロセッサシリーズの各機種ごとにDanteの使用可能なチャンネル数が異なります。詳細については、24ページ「[SETTINGS画面]」の「⑦ SAMPLING FREQUENCY」をご覧ください。

① 入力ソース名／入力ソースレベルメーター表示

入力ソースの名前とレベルメーターを表示します。

メモ

お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

② ROUTING設定部

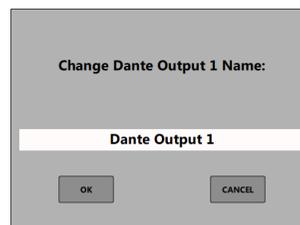
入力ソースから出力チャンネルへの出力経路を設定します。ROUTING画面の①と③の交点をタップすることで、出力経路を変更することができます。また、ダブルタップすることで経路を切断することができます。

メモ

- 1つの入力ソースから複数の出力チャンネルへ出力することが可能です。
- 複数の入力ソースから1つの出力チャンネルへ出力することはできません。

③ 出力チャンネル名表示および信号名表示

OUTPUT画面の出力チャンネル名、OUTPUT詳細設定画面のOUTPUT名設定部にて設定した名前を表示します。Dante出力チャンネルの名前をタップすると、Danteチャンネル名変更画面をポップアップ表示します。



この場所をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

メモ

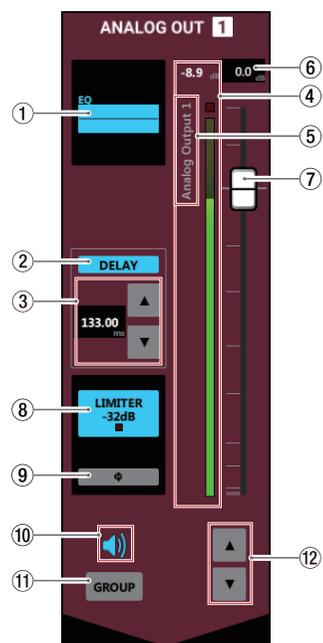
Dante出力チャンネルの名前を変更すると、Dante Controllerから見ることができる「**Channel Label**」も変更されます。Dante出力チャンネルの名前と「**Channel Label**」では、文字数や使える文字の制限が異なります。「**Channel Label**」の制限をこえたDante出力チャンネルの名前にした場合、自動的に変更されます。「**Channel Label**」の制限については、Dante Controllerの取扱説明書をご参照ください。

OUTPUT画面

OUTPUT画面では、Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体のANALOG OUT端子に出力する信号の情報表示、および設定をすることができます。



[Windows版 MM-2D-E OUTPUT画面]



[MIXER画面 詳細]

メモ

- MM-4D/IN-EおよびMM-4D/IN-Eを操作しているとき、OUTPUT画面は表示されません。
- OUTPUT画面の①～③ および⑧と⑨をタップすると、OUTPUT詳細設定画面を表示します。
- お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

① EQUALIZER設定状態表示

OUTPUT詳細設定画面の「EQUALIZER」のオン/オフを状態表示します。また、イコライザーの設定状態をグラフで表示します。イコライザーがオンのとき、青色に点灯します。

② デイレイ設定状態表示

OUTPUT詳細設定画面の「DELAY」のオン/オフ状態を表示します。デイレイ機能がオンのとき、青色に点灯します。

③ デイレイ設定表示

デイレイ時間を設定します。

設定範囲：0msec～300msec (0.02msec刻み)

数字をタップしてキーボード入力、あるいは▲ / ▼ボタンをタップして調節します。

④ 出力チャンネルレベル表示/レベルメーター表示

出力チャンネルレベルメーターの信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

メモ

レベルメーターの最上部は、オーバーロードインジケータです。

⑤ OUTPUT名表示

OUTPUT詳細設定画面のOUTPUT名設定部で設定したOUTPUT名を表示します。

⑥ フェーダーレベル表示

この表示部の下にある出力チャンネルフェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

設定範囲：-inf、-126.9 dB～+10 dB
(初期値：0.0 dB、0.1 dB刻み)

ここをタップすると、キーボードを使ってチャンネルフェーダーの送り出しレベルの値を設定することができます。

⑦ 出力チャンネルフェーダー

各出力チャンネルの信号を出力端子へ送るレベルを調節します。出力チャンネルフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、出力レベルを調節します。出力チャンネルフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示(⑥)に表示されます。

メモ

フェーダーノブをダブルタップすると、フェーダーが0dBに設定されます。

⑧ LIMITER機能設定状態表示/インジケータ

OUTPUT詳細設定画面の「LIMITER」のオン/オフ状態を表示します。リミッター機能がオンのとき、青色に点灯します。リミッター機能が動いているとき、インジケータが赤く点灯します。

⑨ PHASE設定状態表示

OUTPUT詳細設定画面の「PHASE」の設定状態を表示します。チャンネルの信号の位相(フェーズ)が逆相(リバース)のとき、青色に点灯します。

⑩ ミュートボタン

🔊 ボタンをタップすると、🔊 ボタンが消灯したチャンネルがミュート(消音)されます。(初期値：点灯)
🔊 ボタンをタップすると、ミュートが解除されます。

⑪ GROUPボタン

GROUP ボタンをタップすると GROUP ボタンが点灯し、グループ化したチャンネルのチャンネルフェーダーとミュートボタンが連動します。(初期値：消灯)

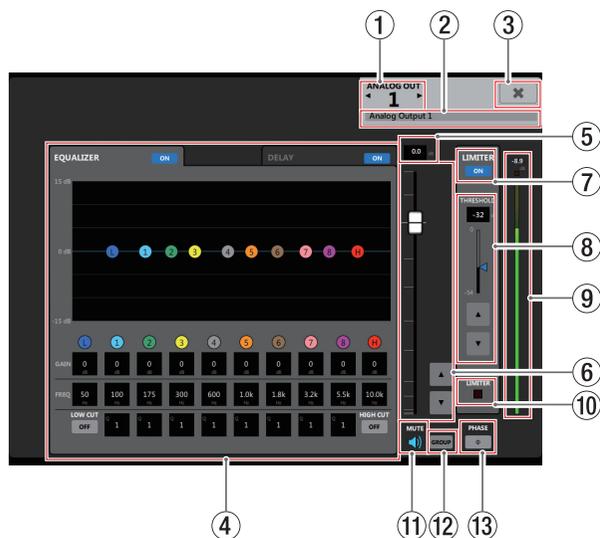
メモ

全てのチャンネルをグループ化することも可能です。

⑫ 出力チャンネルフェーダー調節ボタン

各出力チャンネルの信号を出力端子へ送るレベルを調節します。▲ / ▼ ボタンをタップすると、0.1 dB単位で調節することができます。出力チャンネルフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示(⑥)に表示されます。

OUTPUT詳細設定画面



① OUTPUTチャンネル表示

表示されているOUTPUT詳細設定画面のチャンネル番号を表示します。

◀ / ▶の部分をクリックすると、隣のチャンネルのOUTPUT詳細設定画面を表示します。

② OUTPUT名設定部

OUTPUT画面のOUTPUT名表示に表示される名前を設定します。この場所をクリックすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。

アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

③ ✕ ボタン

OUTPUT詳細設定画面を閉じて、OUTPUT画面に戻ります。

④ EQUALIZERタブ画面 / DELAYタブ画面表示部

各タブをクリックすると、選択されたタブ画面を表示します。

⑤ フェーダーレベル表示

この表示部の下にある出力チャンネルフェーダーのレベルをデシベル単位の数値で表示します。

設定範囲： $-\infty$ 、 -126.9 dB ~ $+10$ dB
(初期値： 0.0 dB、 0.1 dB刻み)

ここをクリックすると、キーボードを使ってチャンネルフェーダーの送り出しレベルの値を設定することができます。

⑥ 出力チャンネルフェーダー

各出力チャンネルの信号を出力端子へ送るレベルを調節します。出力チャンネルフェーダーのフェーダーノブを上下にドラッグして、出力レベルを調節します。

▲ / ▼ボタンをクリックすると、 0.1 dB単位で調節することができます。

出力チャンネルフェーダーのゲイン値は、フェーダーレベル表示(⑦)に表示されます。

メモ

フェーダーノブをダブルクリックすると、フェーダーが 0 dBに設定されます。

⑦ LIMITERボタン

リミッター機能のオン/オフを切り換えます。

リミッター機能がオンのとき、ON ボタンが点灯します。

⑧ THRESHOLD設定表示

リミッター機能の動作するレベル(スレッシュホールドレベル)を設定します。

設定値： -54 dB ~ 0 dB (初期値： 0 dB、 1 dB刻み)

設定レベル表示部のキーボード入力、スライダーおよび▲ / ▼ボタンで設定が可能です。

⑨ 出力チャンネルのレベル表示 / レベルメーター表示

出力チャンネルの信号レベルをデシベル単位の数値とレベルメーターで表示します。

メモ

お使いのネットワーク環境やWi-Fiの接続状況により、レベルメーターの遅延や停止が発生することがあります。

⑩ LIMITERインジケータ

リミッター機能が働いているとき、インジケータが赤く点灯します。

⑪ ミュートボタン

🔇 ボタンをクリックすると、🔇 ボタンが消灯し、その消灯したチャンネルがミュート(消音)されます。(初期値：点灯)

🔊 ボタンをクリックすると、ミュートが解除されます。

⑫ GROUPボタン

GROUP ボタンをクリックすると GROUP ボタンが点灯し、グループ化した出力チャンネルの出力チャンネルフェーダーとミュートボタンが連動します。(初期値：消灯)

メモ

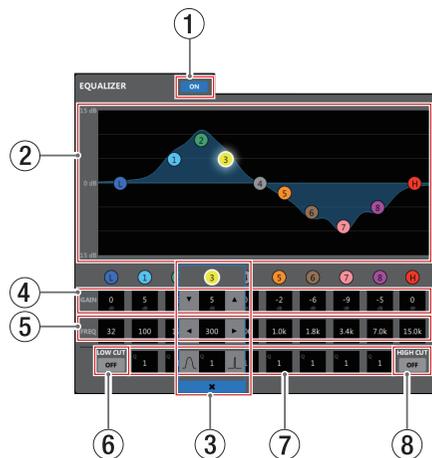
全てのチャンネルをグループ化することも可能です。

⑬ PHASEボタン

出力チャンネルの信号の位相(フェーズ)を変更します。このボタンをクリックして出力チャンネルの位相(フェーズ)を反転します。

	正相(ノーマル)
	逆相(リバース)

EQUALIZERタブ画面



① 出イコライザーオン／オフボタン

出イコライザーのオン／オフを切り換えます。オンのとき、ON ボタンが点灯します。

② EQグラフ表示

現在のイコライザー設定の周波数特性を表示します。EQグラフは、イコライザーがオフのときも表示されます。EQグラフ表示内の L / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / H 表示をタップ後、EQグラフ表示部をドラッグすることによって、選択されたバンドのGAINとFREQを変更することができます。

③ バンド選択枠

EQグラフ表示内または GAIN 表示上部の L / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / H 表示をタップすると、タップしたバンドにバンド選択枠が表示され各項目の値が変更可能になります。バンド選択枠の ✖ をタップすると、バンド選択枠が消えます。

④ GAIN (L / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / H)

LOWバンド / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / HIGHバンドの増幅・減衰量を設定します。

設定範囲：±12dB（初期値：0dB）

▼ / ▲ ボタンで設定が可能です。また、設定値表示部をタップすると設定値のリストが表示されます。ローカットフィルターおよびハイカットフィルターがオンのときはローゲイン、ハイゲインは設定できません。

⑤ FREQ (L / 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / H)

LOW / HIGHバンドのカットオフ周波数、および 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 バンドの中心周波数を設定します。

設定範囲

L : 32Hz ~ 1.6kHz (初期値: 80Hz、ローカットフィルターオフ時)
 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 80Hz、ローカットフィルターオン時)

1 : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 100Hz)

2 : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 175Hz)

3 : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 300Hz)

4 : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 600Hz)

5 : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 1.0kHz)

6 : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 1.8kHz)

7 : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 3.2kHz)

8 : 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 5.5kHz)

H : 1.8kHz ~ 18.0kHz (初期値: 10.0kHz、ハイカットフィルターオフ時)
 32Hz ~ 18.0kHz (初期値: 10.0kHz、ハイカットフィルターオン時)

◀ / ▶ ボタンで設定が可能です。また、設定値表示部をタップすると設定値のリストが表示されます。

⑥ LOW CUTボタン

LOW CUT ボタンをタップすると、ON ボタンが点灯し低域の雑音などをカットするローカットフィルターがオンになります。(初期値：消灯)

⑦ Q (1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8)

1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 バンドの尖鋭度(尖り具合)を設定します。

値が大きいほど尖った特性になり、狭い範囲の周波数帯域に作用します。値が小さいほどなだらかな特性になり、広い範囲の帯域に作用します。

設定範囲：0.25 ~ 16（初期値：1）

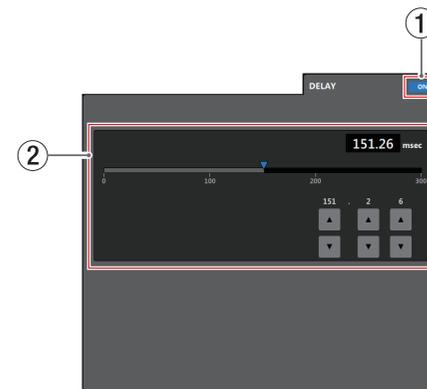
▲ / ▼ ボタンで設定が可能です。また、設定値表示部をタップすると設定値のリストが表示されます。

⑧ HIGH CUTボタン

HIGH CUT ボタンをタップすると、ON ボタンが点灯し高域の雑音などをカットするハイカットフィルターがオンになります。(初期値：消灯)

DELAYタブ画面

出力チャンネルの信号の遅延を調節します。



① デレイ機能のオン／オフボタン

デレイ機能のオン／オフを切り換えます。デレイ機能がオンのとき、ON ボタンが点灯します。

② デレイ設定

デレイ時間を設定します。

設定範囲：0msec ~ 300msec (0.02msec刻み)

スライダー、設定値表示部または ▼ / ▲ ボタンで設定が可能です。

SETTINGS画面

SETTINGS画面は、接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体のステータス（状態）の表示、および設定を変更することができます。



① UNIT NAME

タブエリアの **UNIT NAME** に表示されるDanteコンパクトプロセッサシリーズの名前を表示します。
この場所をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。
アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

メモ

UNIT NAMEを変更すると、Dante Controllerから見ることができる「**Device Name**」も変更されます。
UNIT NAMEと「**Channel Label**」では、文字数や使える文字の制限が異なります。
「**Device Name**」の制限をこえたUNIT NAMEにした場合、自動的に変更されます。
「**Device Name**」の制限については、Dante Controllerの取扱説明書をご参照ください。

② FIRMWARE VERSION

接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体のファームウェアバージョンを表示します。

③ PASSWORD

ログイン画面のパスワードを変更する場合、**CHANGE** ボタンをタップして **Enter new password.** 画面をポップアップ表示します。



アルファベット大文字、小文字、数字に加え、下記の記号を入力することができます。

() [] { } ! @ # \$ % & . ; _ ' ` ^ ~

文字数は、20文字までです。

メモ

出荷時のパスワードは空白です。
パスワードを設定しないと保護されません。

④ SERIAL No.

接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体のシリアル番号を表示します。

⑤ UNIT SEARCH

IDENTIFY ボタンをタップすると、接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体の**STATUS**-インジケータが点滅します。もう一度タップすると点滅が終了します。

⑥ LED BRIGHTNESS

接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体のフロントパネルにある各インジケータの輝度を設定します。

設定値：0 ~ 8（初期値：1）

この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

⑦ SAMPLING FREQUENCY

接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体のサンプリング周波数を表示します。

通常、本体は48kHzで動作します。
サンプリング周波数を変更する場合は、Dante Controllerから変更します。変更方法については、接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体の取扱説明書の「Dante Controller サンプリングレート／量子化ビット数の変更」をご参照ください。
また、設定するサンプリング周波数によって、Danteコンパクトプロセッサシリーズの各機種ごとにDanteの使用可能なチャンネル数がことなります。

サンプリング周波数が44.1 / 48kHzの場合

	DANTE IN	DANTE OUT
AE-4D	4チャンネル	4チャンネル
ML-4D/OUT-E		
ML-4D/OUT-X		
MM-2D-E		
MM-2D-X		
MM-4D/IN-E		
MM-4D/IN-X		

サンプリング周波数が88.2 / 96kHzの場合

	DANTE IN	DANTE OUT
AE-4D	2チャンネル	2チャンネル
ML-4D/OUT-E	4チャンネル	出力無し
ML-4D/OUT-X		
MM-2D-E	2チャンネル	2チャンネル
MM-2D-X		
MM-4D/IN-E	入力無し	4チャンネル
MM-4D/IN-X		

⑧ REFERENCE LEVEL

接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体のアナログ出力のヘッドルーム（最大レベルとリファレンスレベルとの差）を設定します。

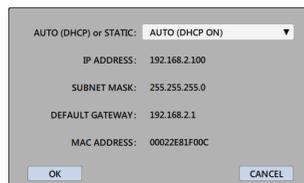
設定値：15 dBu、18 dBu、20 dBu、22 dBu、24 dBu（初期値）

この部分をタップすると、設定値のリストが表示されます。

第2章 TASCAM DCP CONNECT

⑨ NETWORK SETTING

CHANGE ボタンをタップしてネットワーク設定画面をポップアップ表示します。



[AUTO (DHCP ON) の場合]

DHCPをSTATIC (DHCP OFF) にすると、IP ADDRESS、SUBNET MASK、DEFAULT GATEWAYを手動で入力することができます。

ネットワークの設定を変更する場合、**OK** ボタンで確定してください。

⑩ EXPORTED FILES

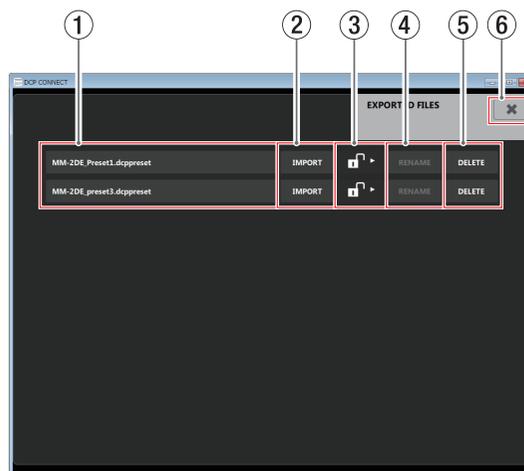
OPEN ボタンをタップすると、PRESET 画面にてエクスポートしたプリセットファイルが **EXPORTED FILES** 画面に表示されます。(→ 25ページ「EXPORTED FILES画面」)

⑪ GPI SETTINGS (ユーロブロックバランスモデルのみ表示)

OPEN ボタンをタップすると、GPI SETTING 画面が表示されます。(→ 26ページ「GPI SETTING画面」)

EXPORTED FILES画面

パソコン上にファイルとして保存されているプリセットファイルを管理します。



メモ

- Android版／iOS版では、エクスポート機能をサポートしていません。
- AE-4Dを操作しているとき、EXPORTED FILES 画面は表示されません。
- プリセットファイルをエクスポートした機種とインポートする機種が異なる場合、インポートできないことがあります。
- プリセットファイルをエクスポートしたときと、インポートするときのDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体のファームウェアバージョンが異なる場合、インポートできないことがあります。

① プリセットファイル名表示

エクスポートしたプリセットファイルの名前を表示します。この部分をタップすると、プリセット名の編集が可能になります。LOCKスライダー (②) の表示が  の場合、プリセット名を変更することができます。

② IMPORTボタン

選択したプリセットファイルを接続しているDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体にインポートします。このボタンをタップするとプリセットファイルがインポートされ、下記のメッセージがポップアップ表示されます。



③ LOCKスライダー

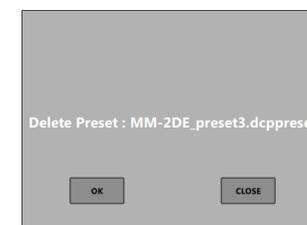
 アイコンを **DELETE** ボタンまでドラッグすると  になり、プリセット名の変更、およびプリセットの削除ができなくなります。

④ RENAMEボタン

プリセットファイル名を編集すると、**RENAME** ボタンをタップすることが可能になります。その状態で **RENAME** ボタンをタップすると、変更したプリセットファイル名を確定します。

⑤ DELETEボタン

選択したプリセットファイルを削除します。このボタンをタップすると、下記のメッセージがポップアップ表示されます。



OK ボタンをタップすると、選択したプリセットファイルを削除します。

⑥ ✕ ボタン

EXPORTED FILES 画面を閉じて、SETTINGS画面に戻ります。

GPI SETTING画面

アナログ入出力端子の外部制御端子の設定を行います。



メモ

AE-4D / ML-4D/OUT-X / MM-2D-X / MM-4D/IN-Xを操作しているとき、GPI SETTING画面は表示されません。

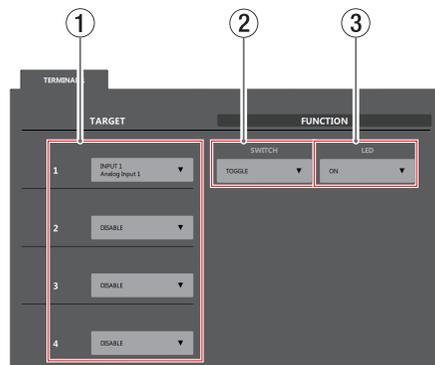
① TERMINAL 1-4 タブ表示

各タブをタップすると、選択されたタブ画面を表示します。
 (→ 26ページ「アナログ入力端子・外部制御端子設定タブ」)、
 (→ 26ページ「アナログ出力端子・外部制御端子設定タブ」)

② ✕ ボタン

GPI SETTING 画面を閉じて、SETTINGS画面に戻ります。

アナログ入力端子・外部制御端子設定タブ



① ターゲット選択表示

ミュートするチャンネルを選択します。
 この部分をタップすると、ターゲットリストが表示されます。
 1つの制御端子で最大4つのチャンネルをターゲットとすることができます。

② SWITCH設定

ボタンをタップしたときのミュートの動作を設定します。

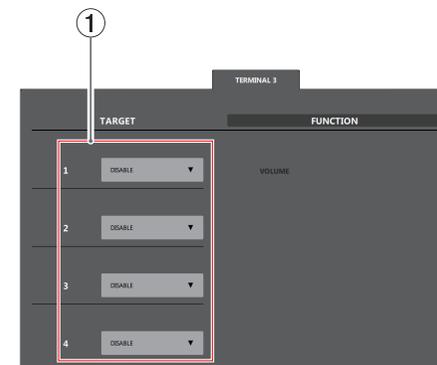
設定値：TOGGLE、HOLD ON、HOLD OFF

③ LED設定

ミュートしたときのインジケータの点灯状態を設定します。

設定値：OFF (ミュート時にインジケータ消灯)
 ON (ミュート時にインジケータ点灯)

アナログ出力端子・外部制御端子設定タブ



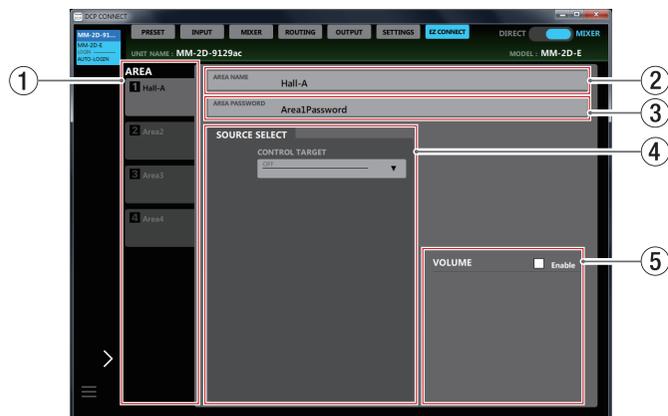
① ターゲット選択表示

フェーダーを操作する対象を選択します。
 この部分をタップすると、ターゲットリストが表示されます。

EZ CONNECT画面

EZ CONNECT画面では、エンドユーザー向けコントロールソフトウェア「TASCAM EZ CONNECT」にて操作する内容を設定することができます。

最大4エリアの設定が可能です。



メモ

- モード切り換えスイッチが **DIRECT** のとき、EZ CONNECT画面は表示されません。
- AE-4Dを操作しているとき、EZ CONNECT画面は表示されません。

「TASCAM EZ CONNECT」は、TASCAMのウェブサイト(<https://tascam.jp/jp/>)からソフトウェア (TASCAM EZ CONNECT) のインストーラーをダウンロードし、インストールしてください。インストール手順については、4ページ「専用ソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

① AREAタブ切り換え表示部

各AREAタブごとに「TASCAM EZ CONNECT」にて操作する内容を設定することができます。

AREA名設定部にて設定した名前を表示します。

この部分をタップすると、各AREAタブを切り換えて表示します。

② AREA名設定部

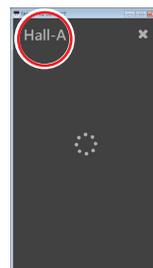
EZ CONNECT画面の各AREAタブの名前を設定します。

この場所をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。

アルファベット96文字、かな漢字約32文字までの文字を入力できます。

メモ

設定した名前は、「TASCAM EZ CONNECT」にも表示されます。(→ 28ページ「TASCAM EZ CONNECTをDanteコンパクトプロセッサシリーズと接続する」)



③ AREAパスワード設定部

「TASCAM EZ CONNECT」でログインする際に必要なパスワードを設定します。(→ 28ページ「TASCAM EZ CONNECTをDanteコンパクトプロセッサシリーズと接続する」)

AREAパスワードは、各AREAタブごとに設定することが可能です。他のエリアと同じパスワードを設定することはできません。

この場所をタップすると、カーソルが点滅して文字が入力できるようになります。

アルファベット大文字、小文字、数字に加え、下記の記号を入力することができます。

() [] { } ! @ # \$ % & . , ; _ ' ` ^ ~

文字数は16文字までです。

メモ

SETTINGS画面の **PASSWORD** 項目にて設定するパスワードと文字数が異なります。

④ ソースセレクト設定部

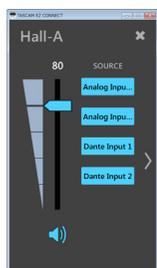
「TASCAM EZ CONNECT」で操作するソースセレクトの内容を設定します。(→ 29ページ「ソースセレクト画面を設定する」)

⑤ ボリューム設定部

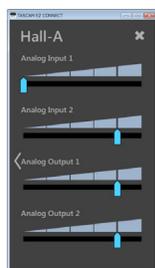
「TASCAM EZ CONNECT」で調節するボリュームを選択します。(→ 30ページ「ボリューム画面を設定する」)

第3章 TASCAM EZ CONNECT

「TASCAM EZ CONNECT」は、シンプルでわかりやすいインターフェースのエンドユーザー向けコントロールソフトウェアです。ソースセレクト画面とボリューム画面があり、コントロール内容は「TASCAM DCP CONNECT」でカスタマイズが可能です。必要な機能だけをアサインすることで、エンドユーザーによる意図しない操作ミスやトラブルを防止でき、施設の管理者も安心してお使いいただけます。



[ソースセレクト画面]



[ボリューム画面]

ソースセレクト画面を表示中に「>」をタップすると、ボリューム画面に移動します。ボリューム画面を表示中に「<」をタップすると、ソースセレクト画面に移動します。

メモ

- 「TASCAM EZ CONNECT」のソースセレクト画面では、「TASCAM DCP CONNECT」のEZ CONNECT画面で有効になっている項目にアクセスできます。「TASCAM DCP CONNECT」のEZ CONNECT画面で以下の設定がされていると表示されません。
 - 「CONTROL TARGET」の設定が「OFF」のとき
 - 「CONTROL TARGET」に対象ソースは選択されているが、入力ソースが「OFF」のとき
- EZ CONNECT画面のボリューム設定部(⑤)の「VOLUME」の「Enable」にチェックマーク(✓)が入っていないとき、「TASCAM EZ CONNECT」にボリューム画面は表示されません。また、各ボリュームの設定が全て「OFF」のとき、「TASCAM EZ CONNECT」にボリューム画面は表示されません。

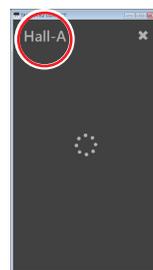
TASCAM EZ CONNECTをDanteコンパクトプロセッサシリーズと接続する

「TASCAM DCP CONNECT」で設定したAREAタブの内容は、Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体に保存されます。その設定情報を使い、「TASCAM EZ CONNECT」からDanteコンパクトプロセッサシリーズへ接続することができます。

- 「TASCAM EZ CONNECT」を起動すると、ログイン画面が表示されます。



- ログインしたいエリアのAREAパスワードを入力し、「LOGIN」ボタンをタップします。(→ 27ページ「EZ CONNECT画面」)
「TASCAM EZ CONNECT」にログインすると、エリア名を表示します。



メモ

- ログアウトする場合は、ログイン後の画面で、右上の✕をタップします。
- 「TASCAM DCP CONNECT」と「TASCAM EZ CONNECT」は同時にDanteコンパクトプロセッサシリーズへログイン可能ですが、「TASCAM EZ CONNECT」ログイン中に「TASCAM DCP CONNECT」のEZ CONNECT画面で設定を変更すると、「TASCAM EZ CONNECT」は強制的にログアウトします。

TASCAM EZ CONNECTをデモモードで使用する

デモモードは、Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体がなくとも「TASCAM EZ CONNECT」を試用できるモードです。デモモードでは、ソースセレクト画面のサンプルの動作をお試しいただけます。

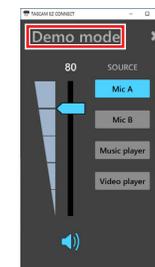
メモ

デモモードを使用しても、Danteコンパクトプロセッサシリーズ本体の設定が変更されることはありません。

- ログイン画面左下の☰ボタンをタップします。メニューがポップアップ表示されます。



- 「Demo mode」ボタンをタップすると、デモモードで使用できるようになります。デモモード中は、画面左上に「Demo mode」と表示されます。



TASCAM EZ CONNECTを設定する

「TASCAM EZ CONNECT」は、「TASCAM DCP CONNECT」のEZ CONNECT画面で設定を行うことで使用できるようになります。

ソースセレクト画面を設定する

ソースセレクト画面の入カソースを設定する

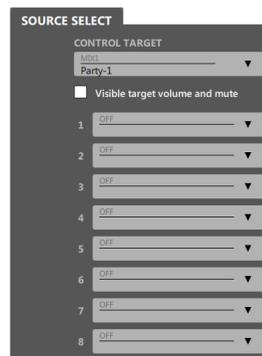
メモ

「TASCAM DCP CONNECT」のEZ CONNECT画面のソースセレクト設定部(④)の「CONTROL TARGET」の設定が「OFF」のとき、「TASCAM EZ CONNECT」にソースセレクト画面は表示されません。また、「CONTROL TARGET」に対象ソースが選択され、各ソースの設定が全て「OFF」のとき、「TASCAM EZ CONNECT」にソースセレクト画面は表示されません。

1. 「CONTROL TARGET」の▼部をタップし、MIXタブのリストを表示します。(初期値：OFF)



2. 「TASCAM EZ CONNECT」にて操作するMIXタブ名を選択します。
「TASCAM EZ CONNECT」にて操作する入カソースの選択が可能になります。



注意

複数のエリアに同じMIXチャンネルを設定しないでください。正常に動作しません。

3. ソースセレクト「1」から「8」をタップして、「TASCAM EZ CONNECT」にて操作する入カソースを選択します。



4. 「TASCAM EZ CONNECT」を起動してログインすると、手順3.にて選択した入カソースが表示されます。

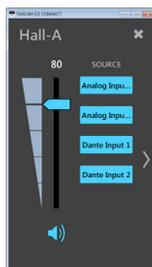


5. 入力したいソースのボタンをタップします。
点灯しているボタンに対応する音声のみ入力され、その他の入カソースはミュートされます。

第3章 TASCAM EZ CONNECT

ソースセレクト画面のボリュームとミュートを設定する

「Visible target volume and mute」にチェックマーク (✓) を入れると、「TASCAM EZ CONNECT」にMIXマスターチャンネルのマスターフェーダーを操作するボリュームスライダーとミュートを操作する (🔊) が表示されます。



メモ

「TASCAM EZ CONNECT」のボリュームは、「TASCAM DCP CONNECT」のフェーダーと下記の通りに対応します。

TASCAM EZ CONNECTの表示	TASCAM DCP CONNECTの表示
100	+10dB
90	+4.8dB
80	0dB
70	-3.2dB
60	-6.6dB
50	-11.7dB
40	-18.9dB
30	-26.9dB
20	-34.8dB
10	-45.8dB
0	-inf.

ボリューム画面を設定する

メモ

「TASCAM DCP CONNECT」のEZ CONNECT画面のボリューム設定部 (⑤) の「VOLUME」の「Enable」にチェックマーク (✓) が入っていないとき、「TASCAM EZ CONNECT」にボリューム画面は表示されません。また、各ボリュームの設定が全て「OFF」のとき、「TASCAM EZ CONNECT」にボリューム画面は表示されません。

- 「TASCAM EZ CONNECT」でボリューム操作を有効にするには、「VOLUME」の「Enable」にチェックマーク (✓) を入れます。「TASCAM EZ CONNECT」にてボリューム操作する4つのボリューム選択枠が表示されます。



- この部分をタップすると、ボリューム操作の対象リストが表示されます。「TASCAM EZ CONNECT」にてボリューム操作するチャンネルを選択します。



[MM-2D-E接続時の表示例]

第3章 TASCAM EZ CONNECT

ボリューム操作の対象には、下記の選択が可能です。

選択肢			内容
ML-4D/OUT-E ML-4D/OUT-X	MM-2D-E MM-2D-X	MM-4D/IN-E MM-4D/IN-X	
表示無し	ANALOG IN 1-2	ANALOG IN 1-4	INPUT画面のチャンネルフェーダー
MIX 1-4	MIX 1-4	MIX 1-4	MIXER画面の各MIXタブのMIXマスターフェーダー
ANALOG OUT 1-4	ANALOG OUT 1-2	表示無し	OUTPUT画面の出力チャンネルフェーダー
表示無し	MIX1 ANALOG IN 1-2	MIX1 ANALOG IN 1-4	MIXER画面・MIX1タブのANALOG INチャンネルフェーダー
MIX1 DANTE IN 1-4*	MIX1 DANTE IN 1-4*	MIX1 DANTE IN 1-4*	MIXER画面・MIX1タブのDANTEチャンネルフェーダー
表示無し	MIX2 ANALOG IN 1-2	MIX2 ANALOG IN 1-4	MIXER画面・MIX2タブのANALOG INチャンネルフェーダー
MIX2 DANTE IN 1-4*	MIX2 DANTE IN 1-4*	MIX2 DANTE IN 1-4*	MIXER画面・MIX2タブのDANTEチャンネルフェーダー
表示無し	MIX3 ANALOG IN 1-2	MIX3 ANALOG IN 1-4	MIXER画面・MIX3タブのANALOG INチャンネルフェーダー
MIX3 DANTE IN 1-4*	MIX3 DANTE IN 1-4*	MIX3 DANTE IN 1-4*	MIXER画面・MIX3タブのDANTEチャンネルフェーダー
表示無し	MIX4 ANALOG IN 1-2	MIX4 ANALOG IN 1-4	MIXER画面・MIX4タブのANALOG INチャンネルフェーダー
MIX4 DANTE IN 1-4*	MIX4 DANTE IN 1-4*	MIX4 DANTE IN 1-4*	MIXER画面・MIX4タブのDANTEチャンネルフェーダー

* SETTING画面の **SAMPLING FREQUENCY** 項目に表示されているサンプリング周波数によって、Danteの使用可能なチャンネル数が異なります。(→ 24ページ「SETTINGS画面」)

3. 「TASCAM EZ CONNECT」に起動し、ログインします。
「TASCAM EZ CONNECT」のボリューム画面に、手順2.にて選択したボリュームが表示されます。

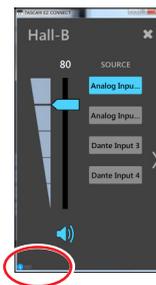
メモ

EZ CONNECT画面のソースセレクト設定部 (④) の「CONTROL TARGET」が「OFF」の場合は、「TASCAM EZ CONNECT」にボリューム操作画面のみ表示されます。

4. ボリューム調節の必要なノブを左右にドラッグして、ボリュームレベルを調節します。

インフォメーションコードについて

「TASCAM DCP CONNECT」によるDanteコンパクトプロセッサシリーズ本体の設定が正しくできていないと、「TASCAM EZ CONNECT」にインフォメーションコードが表示されます。



インフォメーションコードは、設定が正しくないときにのみ表示されます。
 インフォメーションコードが出ないようにDanteコンパクトプロセッサシリーズを設定してください。

インフォメーションコードの内容と対応方法

	インフォメーションコードの内容	対応方法	インフォメーションコードが表示されているときの動作
001	複数の機材の間で、エリアネームが統一されていません。	複数の機材のエリアネームを同じにしてください。	複数の機材のエリアネームを同じにするまでは、いずれか1つのエリアネームが表示されます。
002	複数の機材でEZ CONNECT画面の「Visible target volume and mute」にチェックマーク (✓) が入っています。	1つのエリアに対してEZ CONNECT画面の「Visible target volume and mute」にチェックマーク (✓) を入れるのは、1つまでにしてください。	複数の機材でEZ CONNECT画面の「Visible target volume and mute」にチェックマーク (✓) が入っていると、いずれか1つの機材のボリュームとミュートが有効になります。
S0x (x は1～8の数字)	EZ CONNECT画面のソースセレクト設定部 (④) のソースx番が、複数の機材で設定されています。	EZ CONNECT画面のソースセレクト設定部 (④) のソースx番に設定するのは1つの機材のみで行い、他の機材では「OFF」にしてください。	EZ CONNECT画面のソースセレクト設定部 (④) のソースx番が複数の機材で設定されていると、ソースセレクト画面にいずれか1つのソースセレクトボタンが表示されます。
V0x (x は1～4の数字)	EZ CONNECT画面のボリューム設定部 (⑤) のボリュームx番が、複数の機材で設定されています。	EZ CONNECT画面のボリューム設定部 (⑤) のボリュームx番に設定するのは1つの機材のみで行い、他の機材では「OFF」にしてください。	EZ CONNECT画面のボリューム設定部 (⑤) のボリュームx番が複数の機材で設定されていると、ボリューム画面のいずれか1つのボリュームが有効になります。

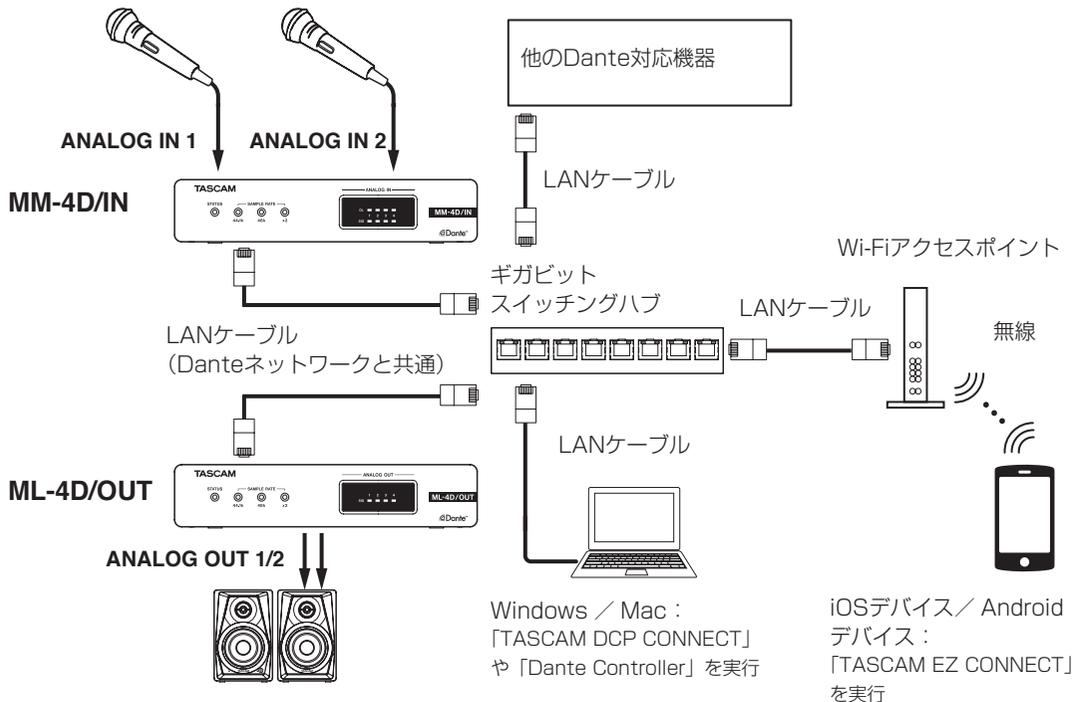
第4章 TASCAM EZ CONNECTのための設定例

複数台のDanteコンパクトプロセッサシリーズをTASCAM EZ CONNECTで操作する

複数台のDanteコンパクトプロセッサシリーズを「TASCAM EZ CONNECT」でコントロールすることができます。ただし、Danteコンパクトプロセッサシリーズを正常に「TASCAM EZ CONNECT」でコントロールするには、下記条件があります。

- ① 複数のDanteコンパクトプロセッサシリーズで設定するエリア名は、同一にしてください。
- ② 複数のDanteコンパクトプロセッサシリーズで設定するエリアのパスワードは、同一にしてください。
- ③ 1つのエリアに対して「Visible target volume and mute」にチェックマーク(✓)を入れるのは、1つにしてください。2つ以上のチェックマーク(✓)を入れると、正常に動作しません。
- ④ ソースセレクトに入力ソースを設定するとき、複数のDanteコンパクトプロセッサシリーズで同じ番号のソースセレクトに設定しないでください。例えば、1つのDanteコンパクトプロセッサシリーズでソースセレクト「1」に「ANALOG IN 1」を設定した場合は、他のDanteコンパクトプロセッサシリーズではソースセレクト「1」は「OFF」にしてください。
- ⑤ ボリュームの設定で、複数のDanteコンパクトプロセッサシリーズで同じ番号を使用しないでください。

Danteコンパクトプロセッサシリーズを2台を使用した場合の接続例



メモ

「TASCAM EZ CONNECT」は、MX-8Aを操作することが可能です。詳しくは、「TASCAM MX CONNECT」の取扱説明書をご参照ください。

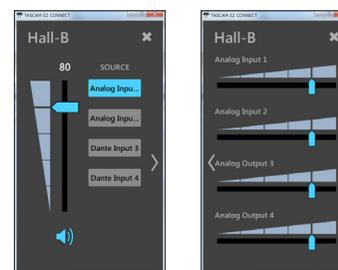
MM-4D/IN 側のEZ CONNECT画面の設定



ML-4D/OUT 側のEZ CONNECT画面の設定



上記の設定状態のときの TASCAM EZ CONNECT画面



ティアック株式会社 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

● 電話 **042-356-9137** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-809** 一般電話から

● FAX **042-356-9185**

受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00 です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

● 電話 **04-2901-1033** 携帯電話・PHS・IP電話から

● ナビダイヤル  **0570-000-501** 一般電話から

● FAX **04-2901-1036**

受付時間は、9:30～17:00です。(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。